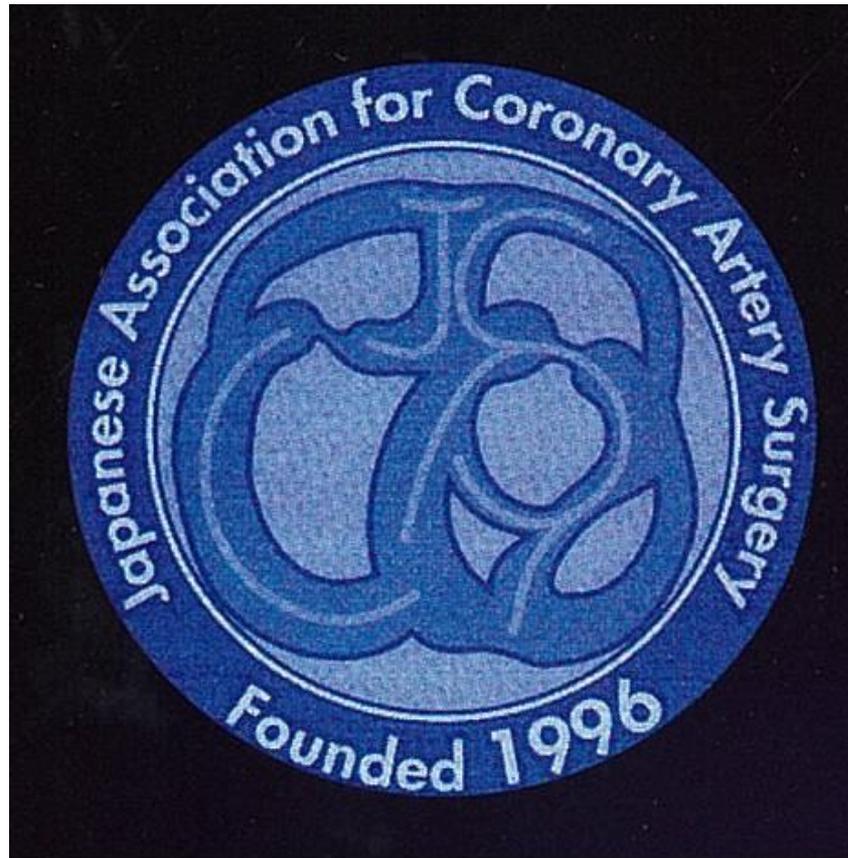


# 冠動脈外科全国アンケート調査結果 2015年



日本冠動脈外科学会  
全国アンケート調査委員会

# 冠動脈バイパス術(CABG)

**総数** : 13,814

---

**単独手術** : 9,707 (70%)(前年71%)

**合併手術** : 4,107 (30%)(前年29%)

## 単独手術

---

**初回待機手術** : 8,150

Off-pump : 5,136

On-pump : 3,014

**(Off-pump率 : 63%)**

**(前年 : 68%)**

**初回待機手術以外** : 1,557

Off-pump : 795

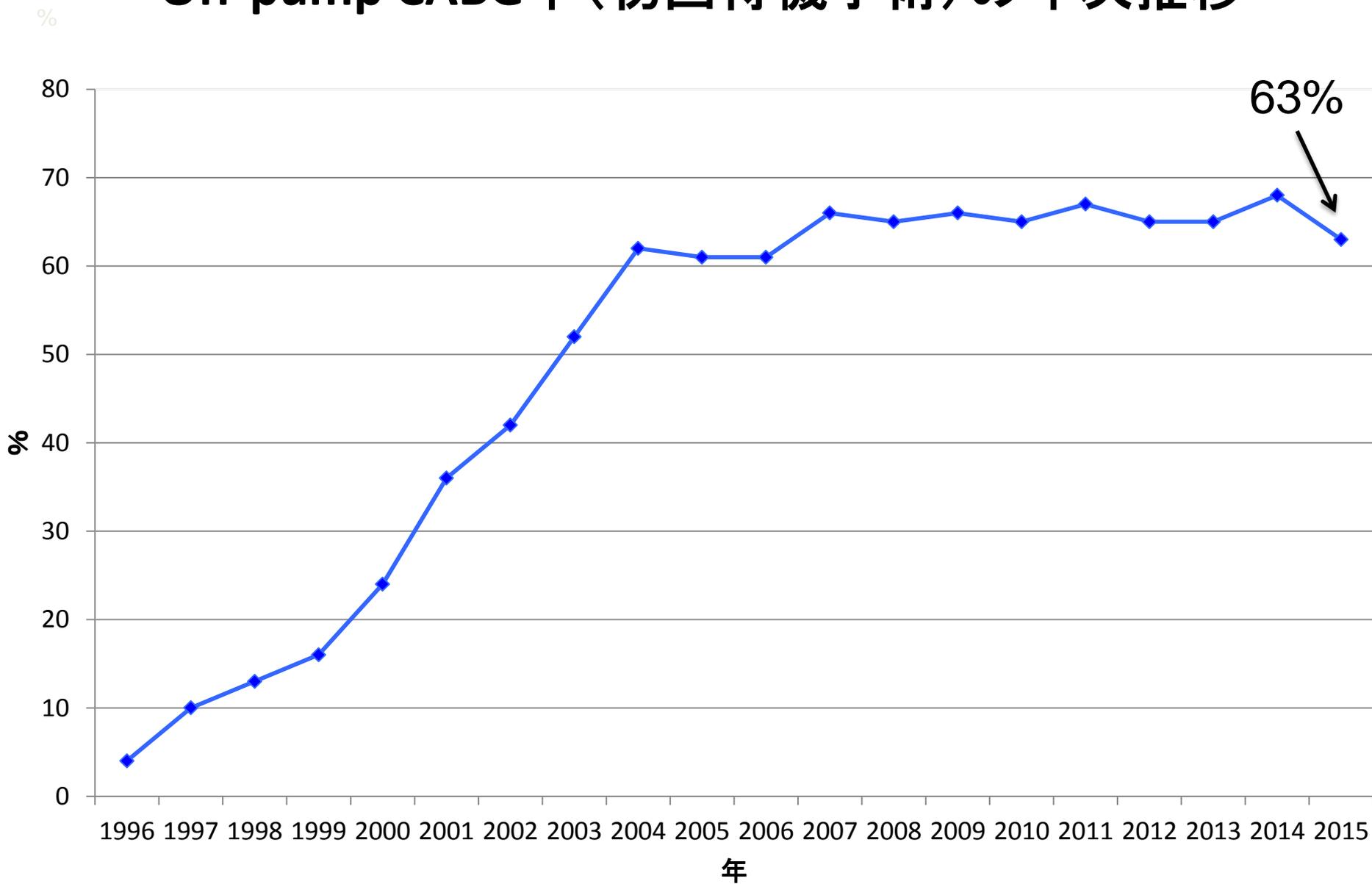
On-pump : 762

**(Off-pump率 : 51%)**

**(前年 : 56%)**

---

# Off-pump CABG率(初回待機手術)の年次推移



**初回待機手術総数:8,150(100%)**

---

**On-pump (心停止):1,880(23.1%)**

**On-pump (心拍動):1,134(13.9%)**

**Off-pump (総数) :5,136(63.0%)**

**Off-pump (完遂) :5,045**

**On-pump (移行) : 91**

---

**Off-pumpの完遂率 :98.2%**

**Off からOn-pumpへの移行率 : 1.8%**  
**(前年:2.5%)**

**单独CABG総数死亡率:1.72%**  
**(前年:1.70%)**

**单独初回待機手術死亡率:0.83%**  
**(前年:1.03%)**

---

**On-pump (心停止) :1.38%**

**On-pump (心拍動) :0.97%**

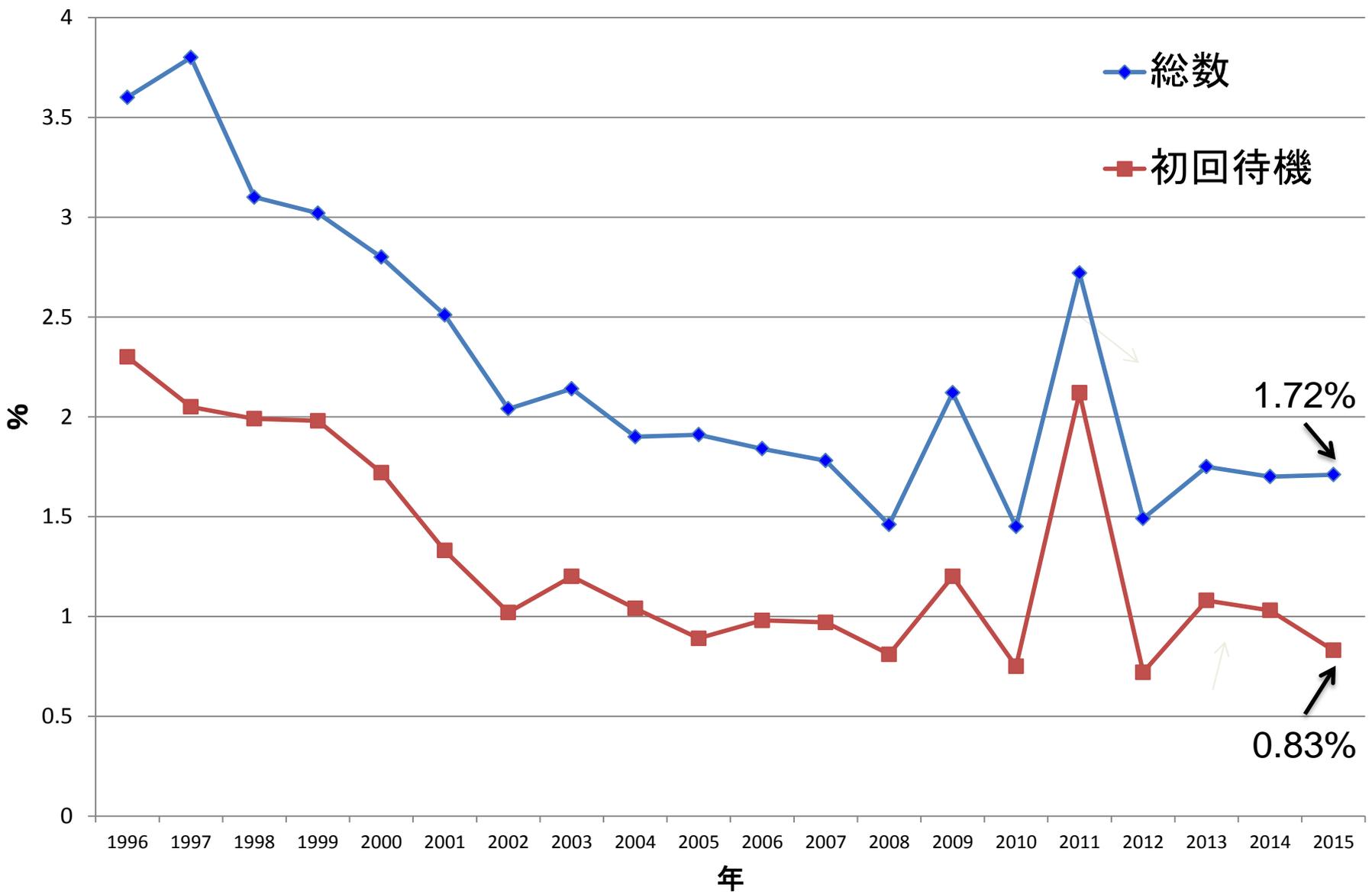
**Off-pump (総数) :0.60%**

**Off-pump (完遂) :0.54%**  
**(前年:0.72%)**

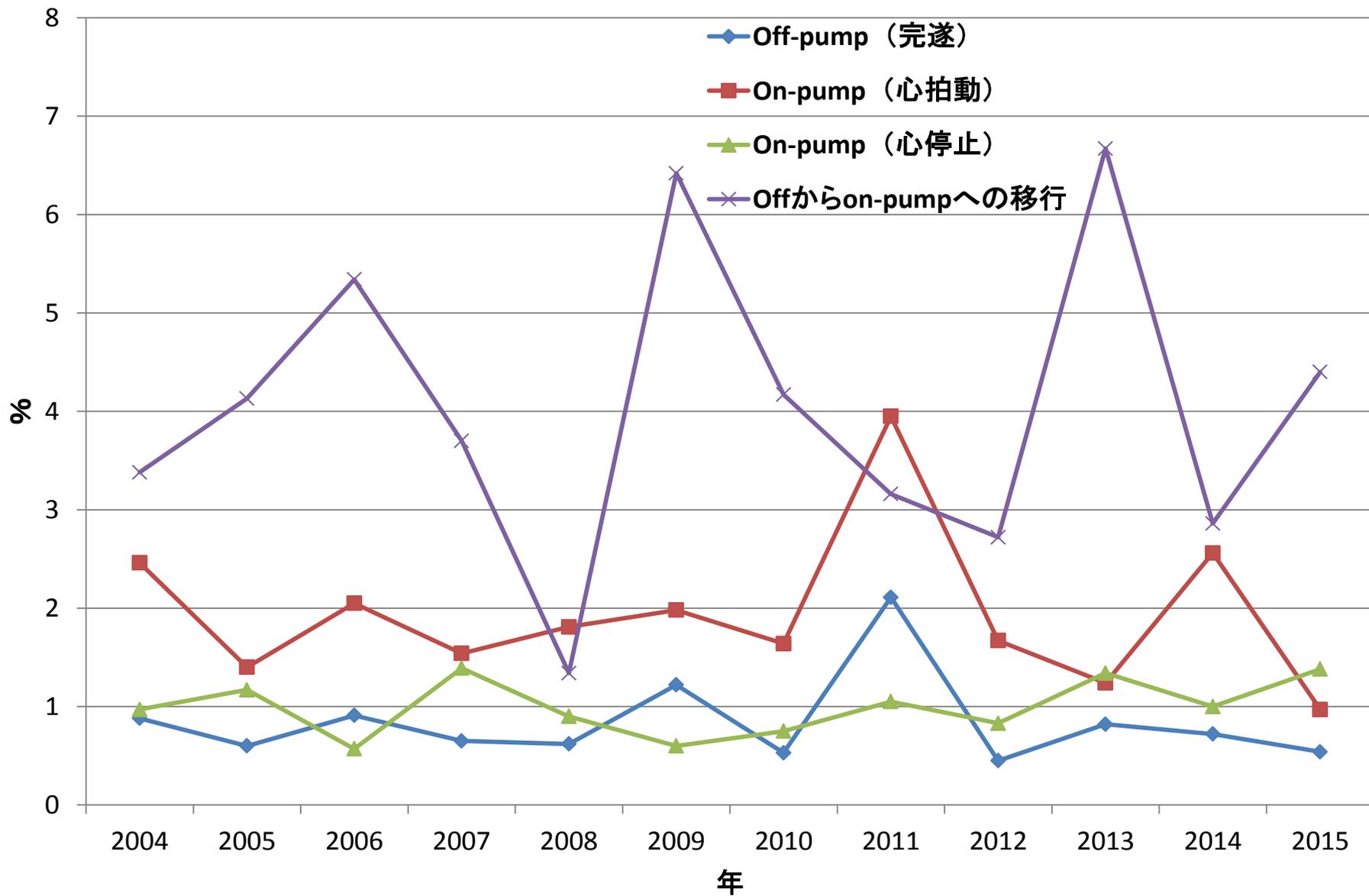
**On-pump (移行) :4.40%**  
**(前年:2.86%)**

---

# 死亡率の年次推移(単独手術総数と単独初回待機手術)

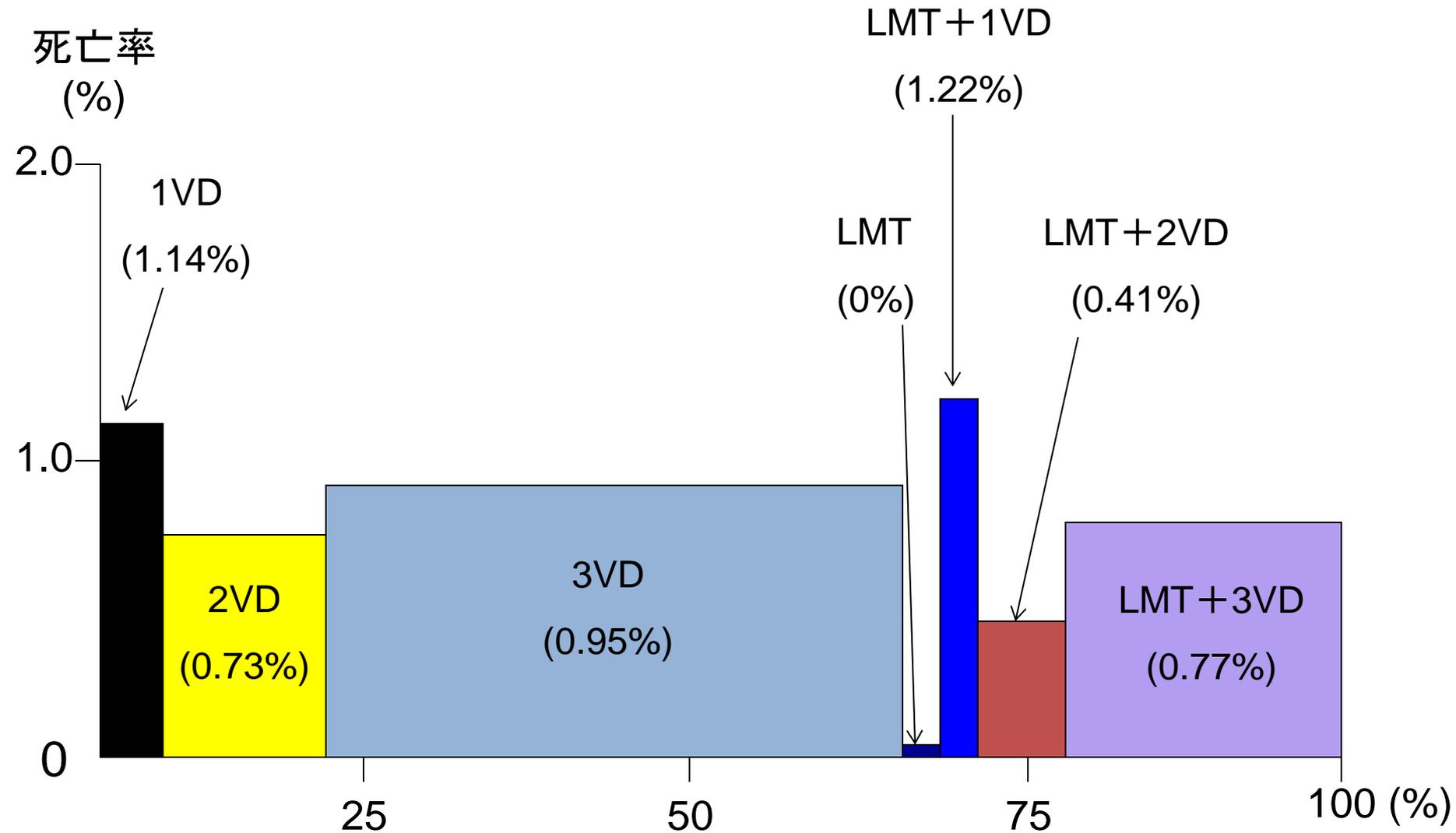


# 手術手技別死亡率の年次推移(単独初回待機手術)



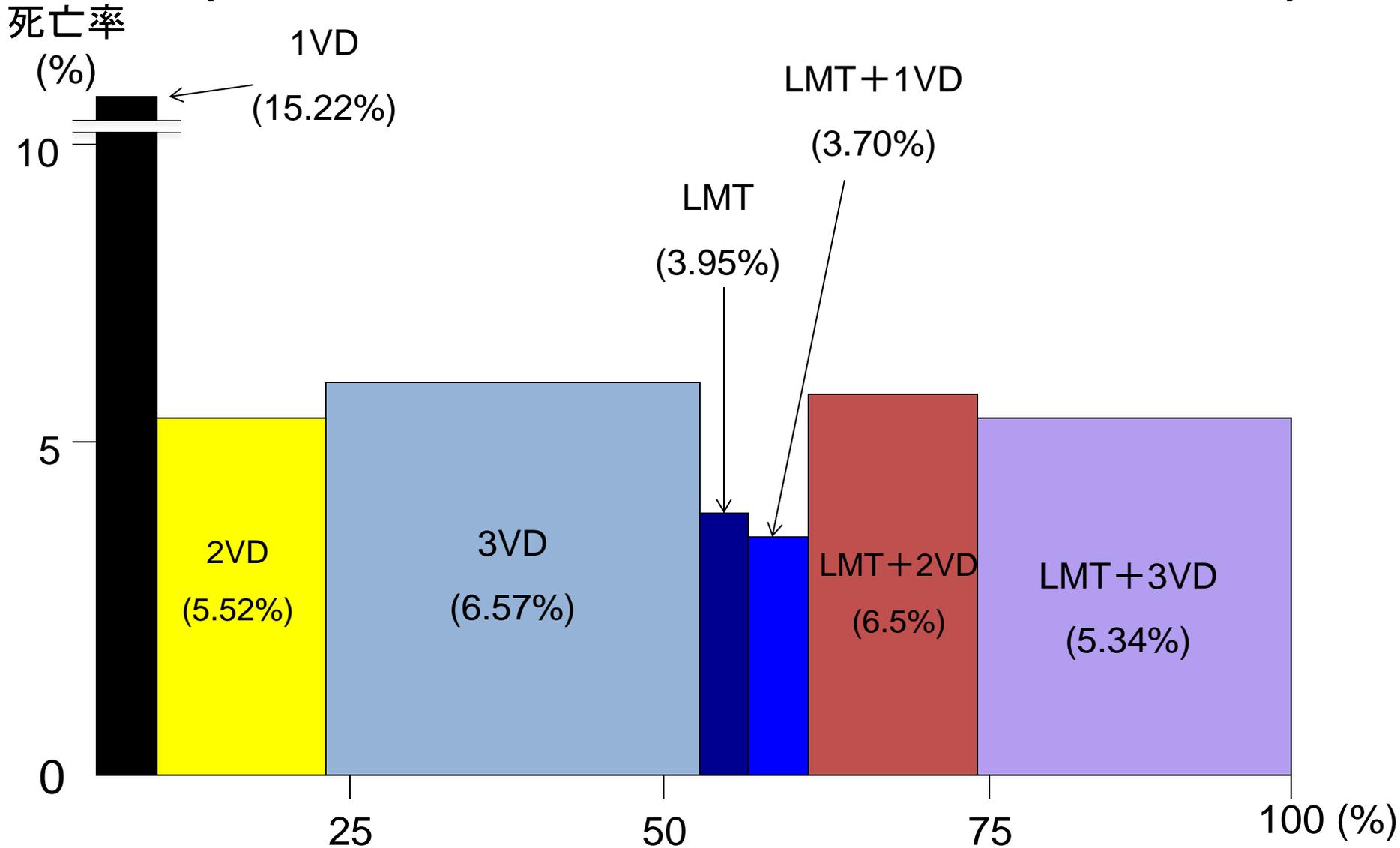
# 病変数による手術成績

(初回待機手術 総数:8,150例、死亡率:0.83%)



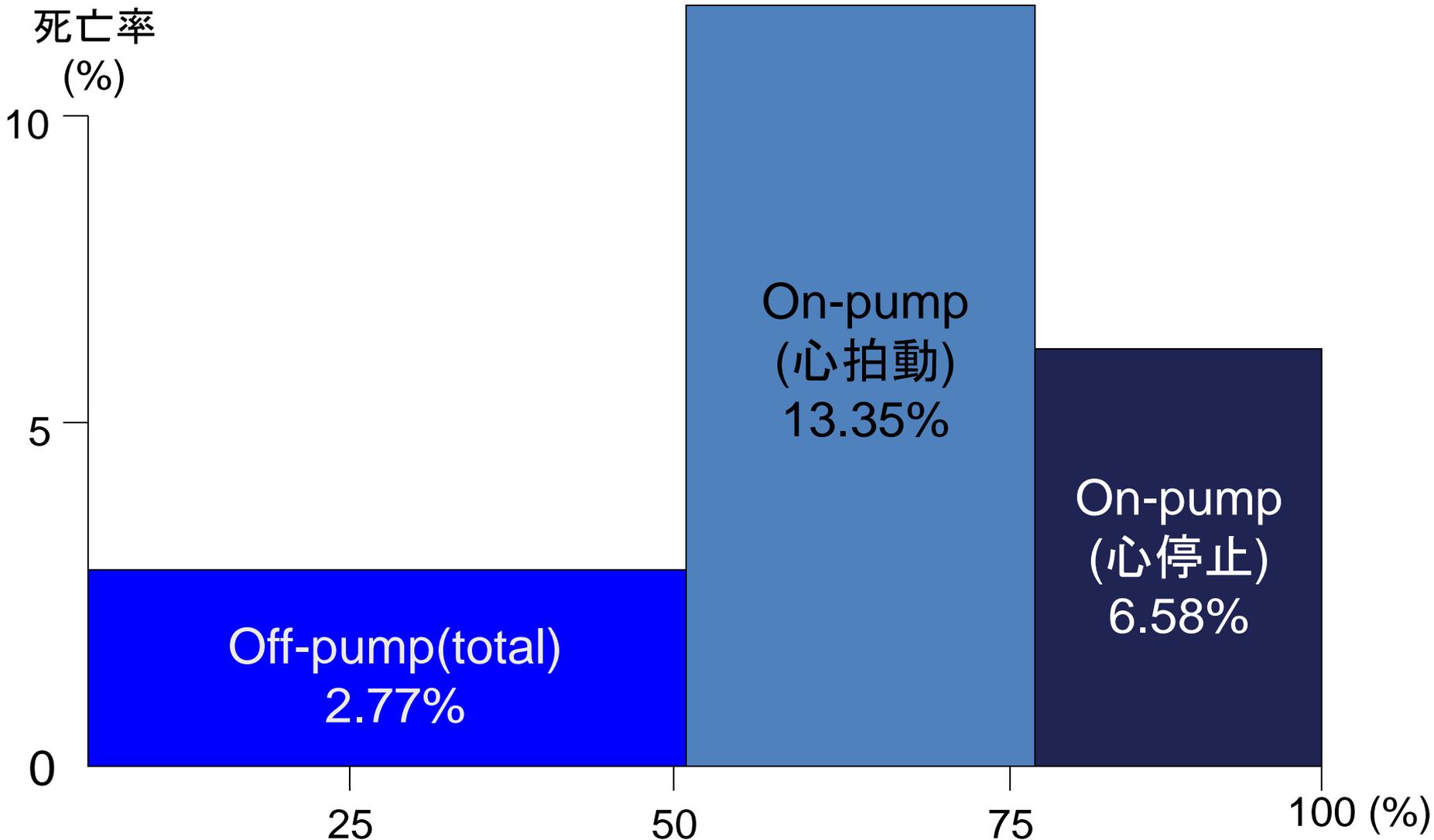
# 病変数による手術成績

(初回待機以外の手術 総数:1,557例、死亡率:6.36%)



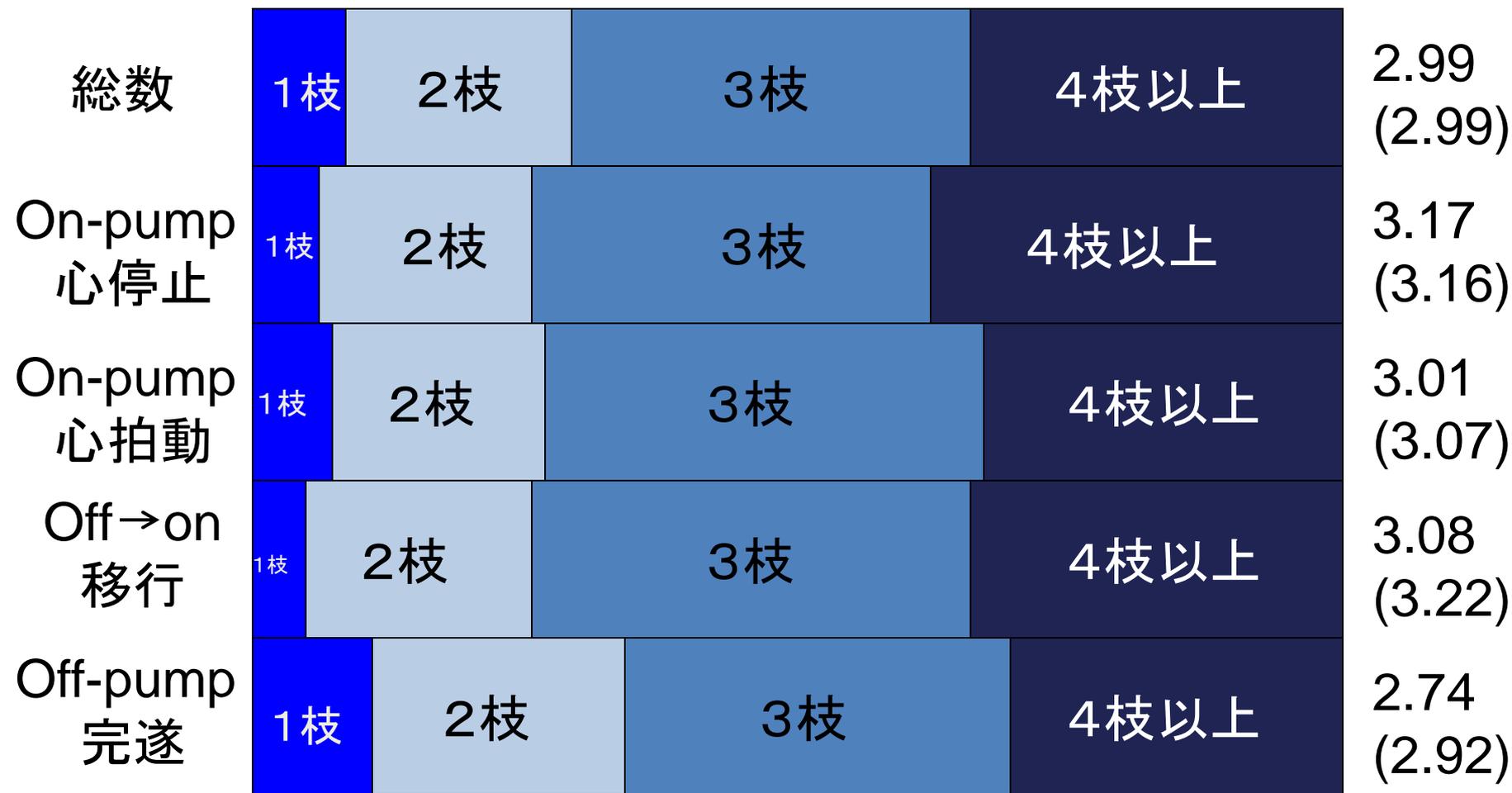
# 手術手技による手術成績

(初回待機以外の手術 総数:1,557例、死亡率:6.36%)



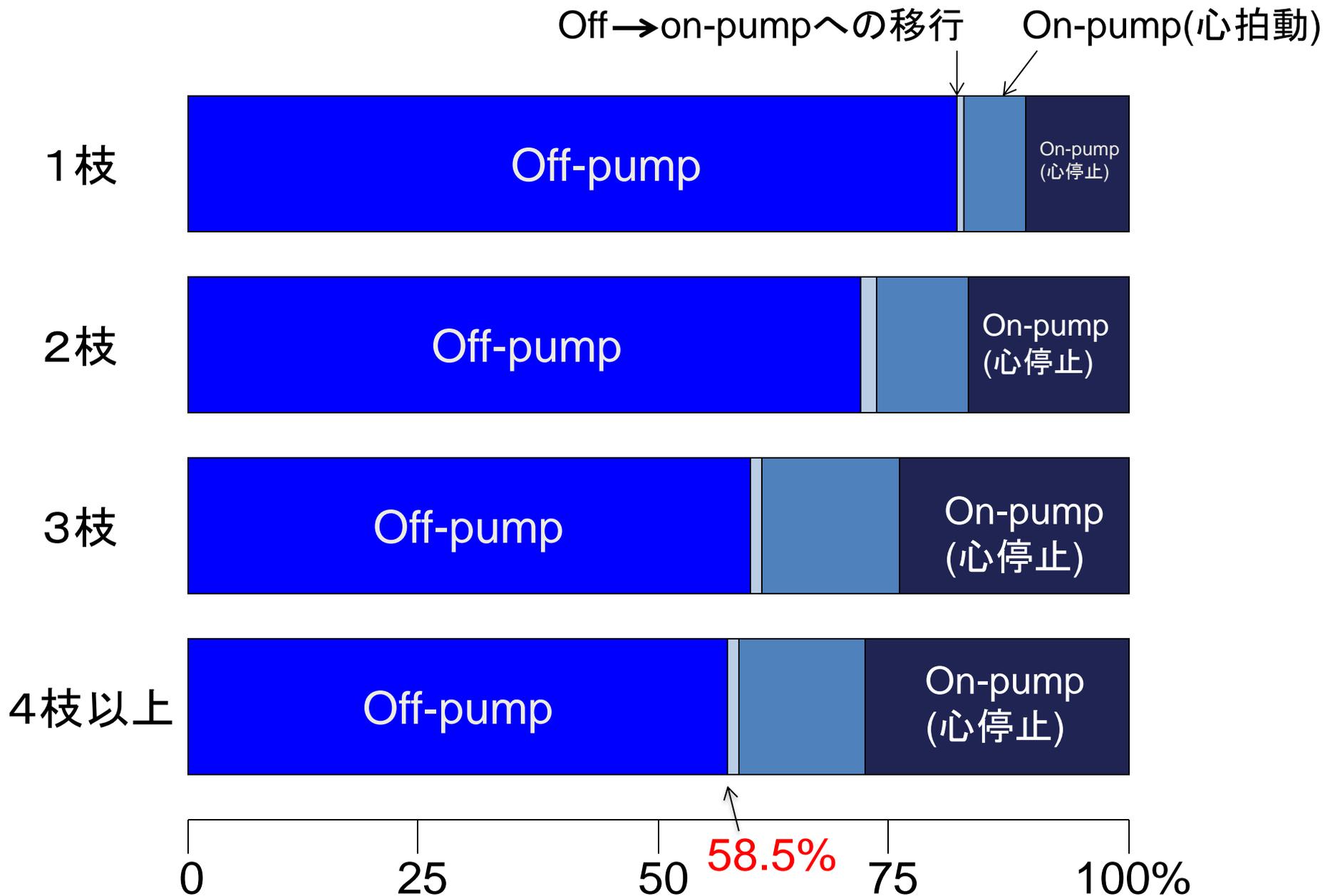
# 手技別のバイパスグラフト本数(初回待機手術)

平均本数  
(前年)



0 25 50 75 100%

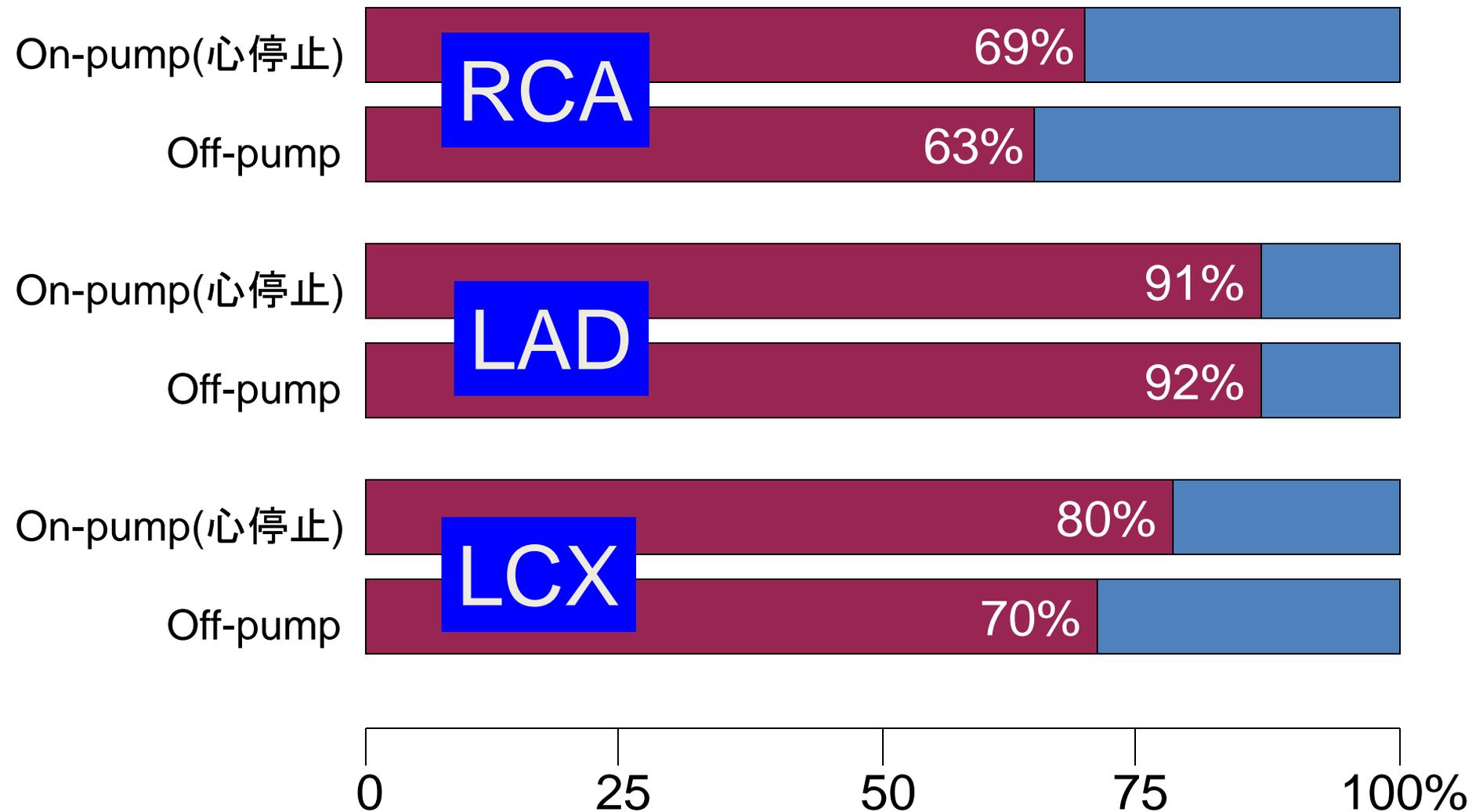
# バイパスグラフト本数別の手技(初回待機手術)



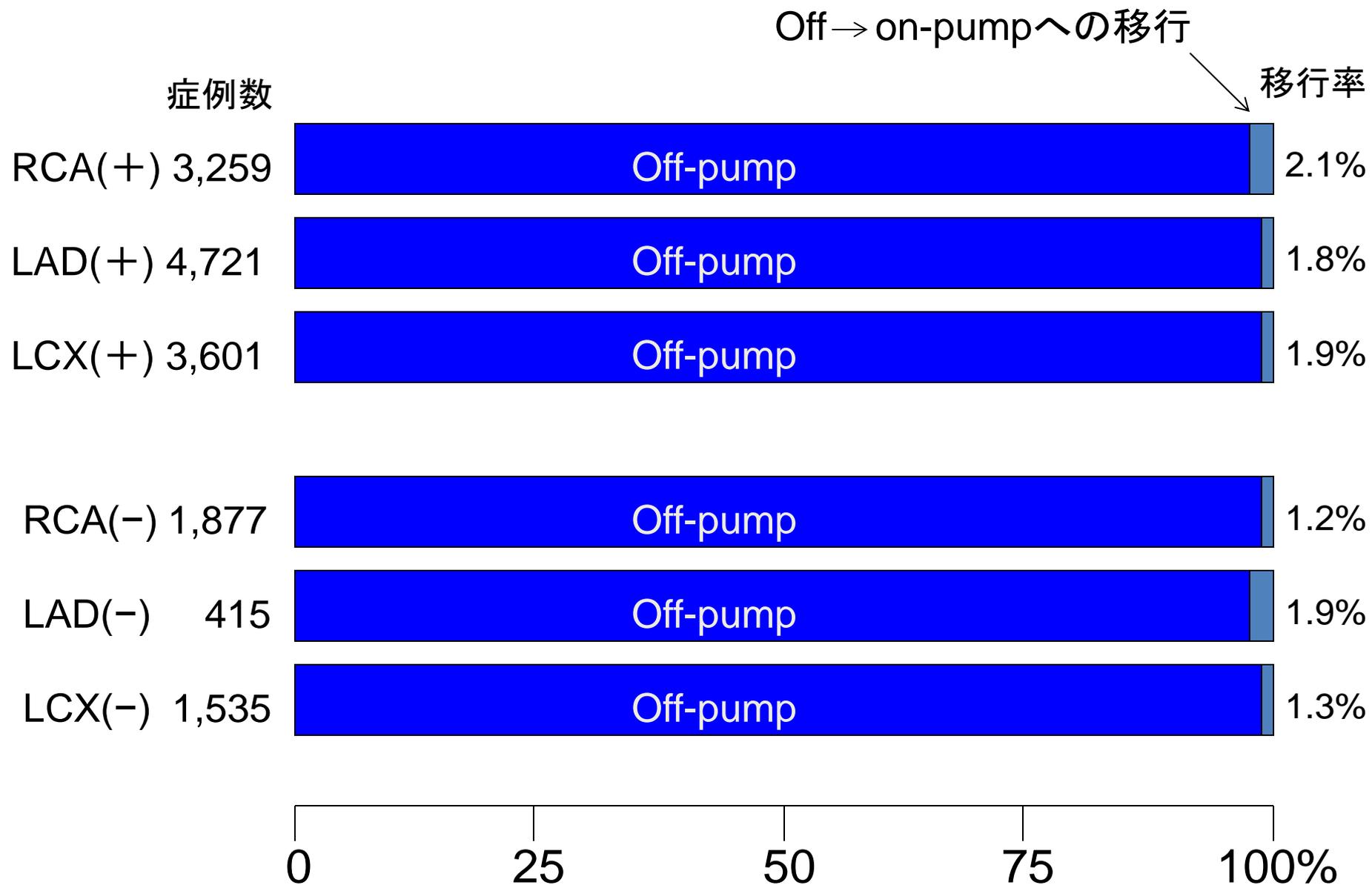
# グラフト吻合箇所別のon-pump(心停止)とoff-pumpの比較(初回待機手術)

■ 吻合+

■ 吻合-



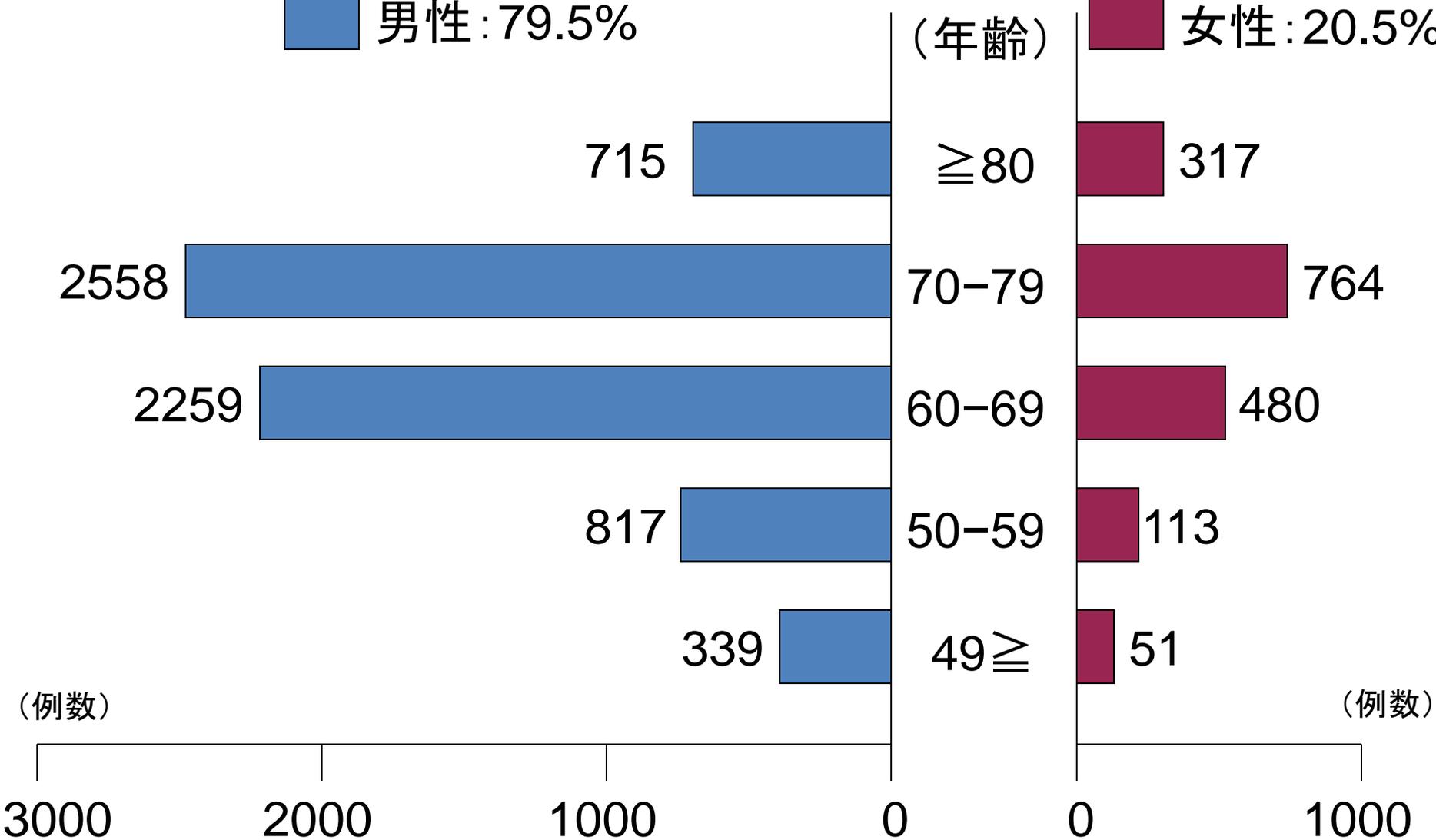
# 吻合部位の有無によるoff-pumpとon-pumpへの移行の関係(初回待機手術)



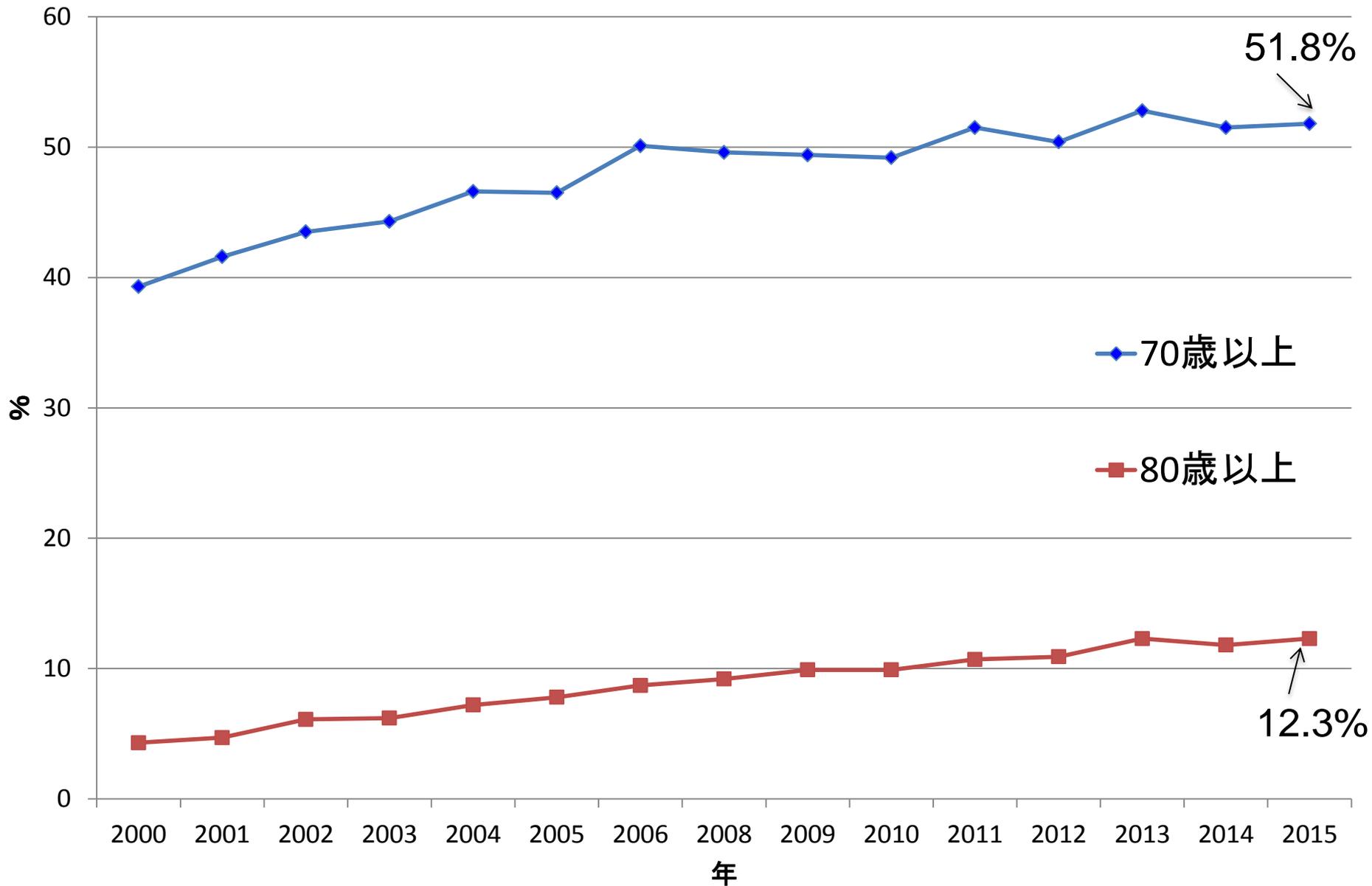
# 男女別の年齢分布(初回待機手術)

■ 男性:79.5%

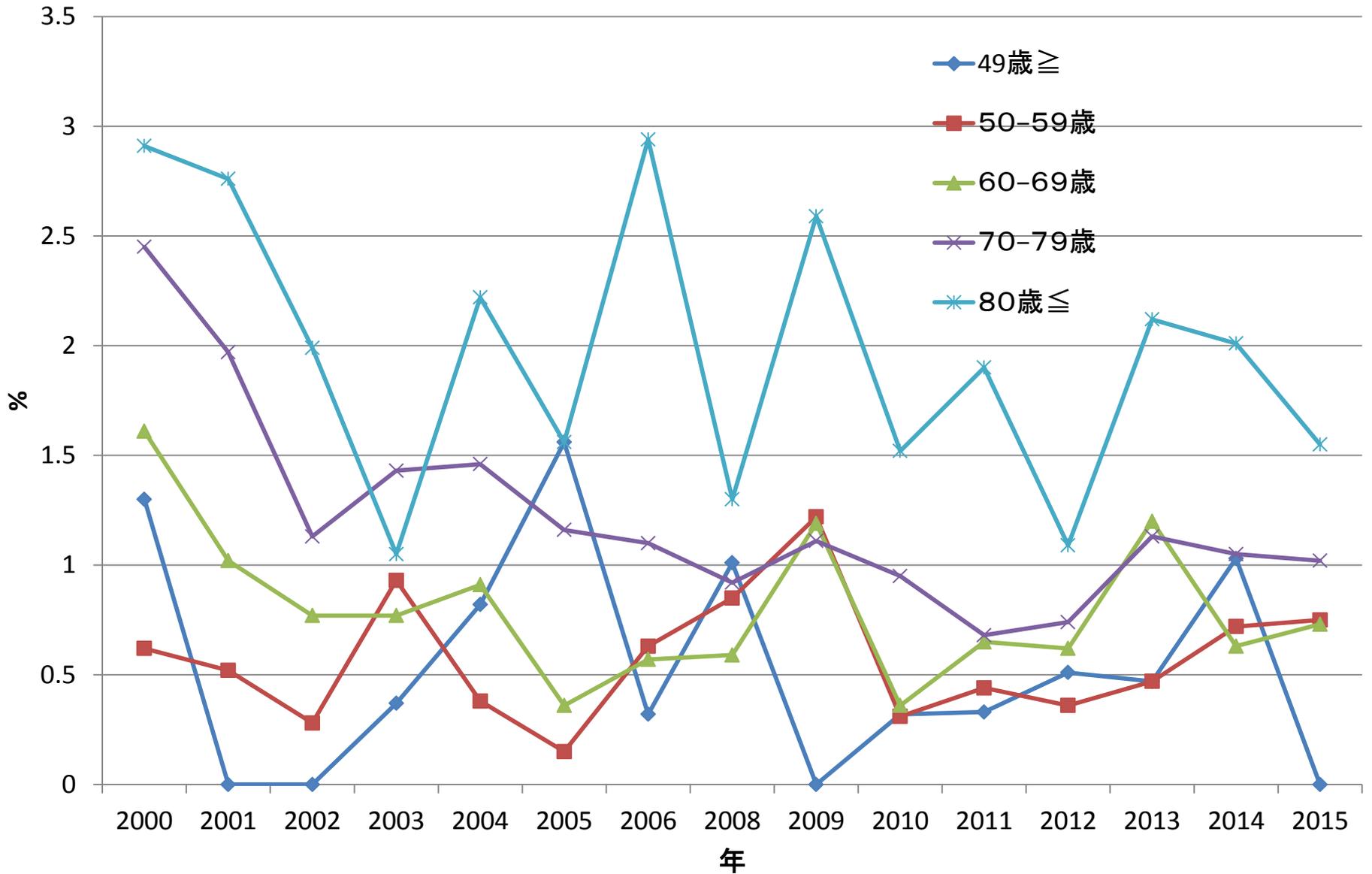
(年齢) ■ 女性:20.5%



# 高齢者割合の年次推移(初回待機手術)

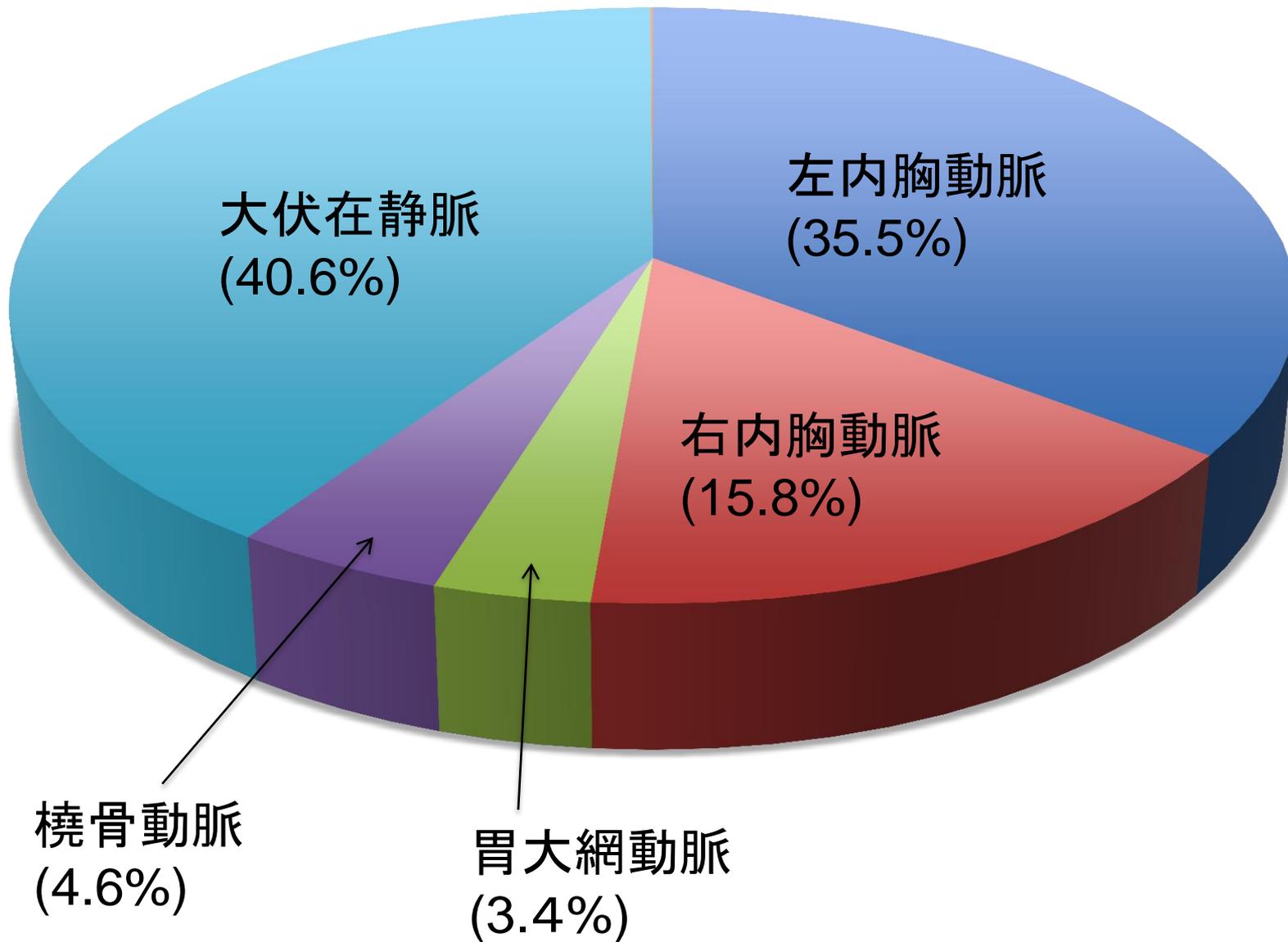


# 年齢別死亡率の年次推移(初回待機手術)

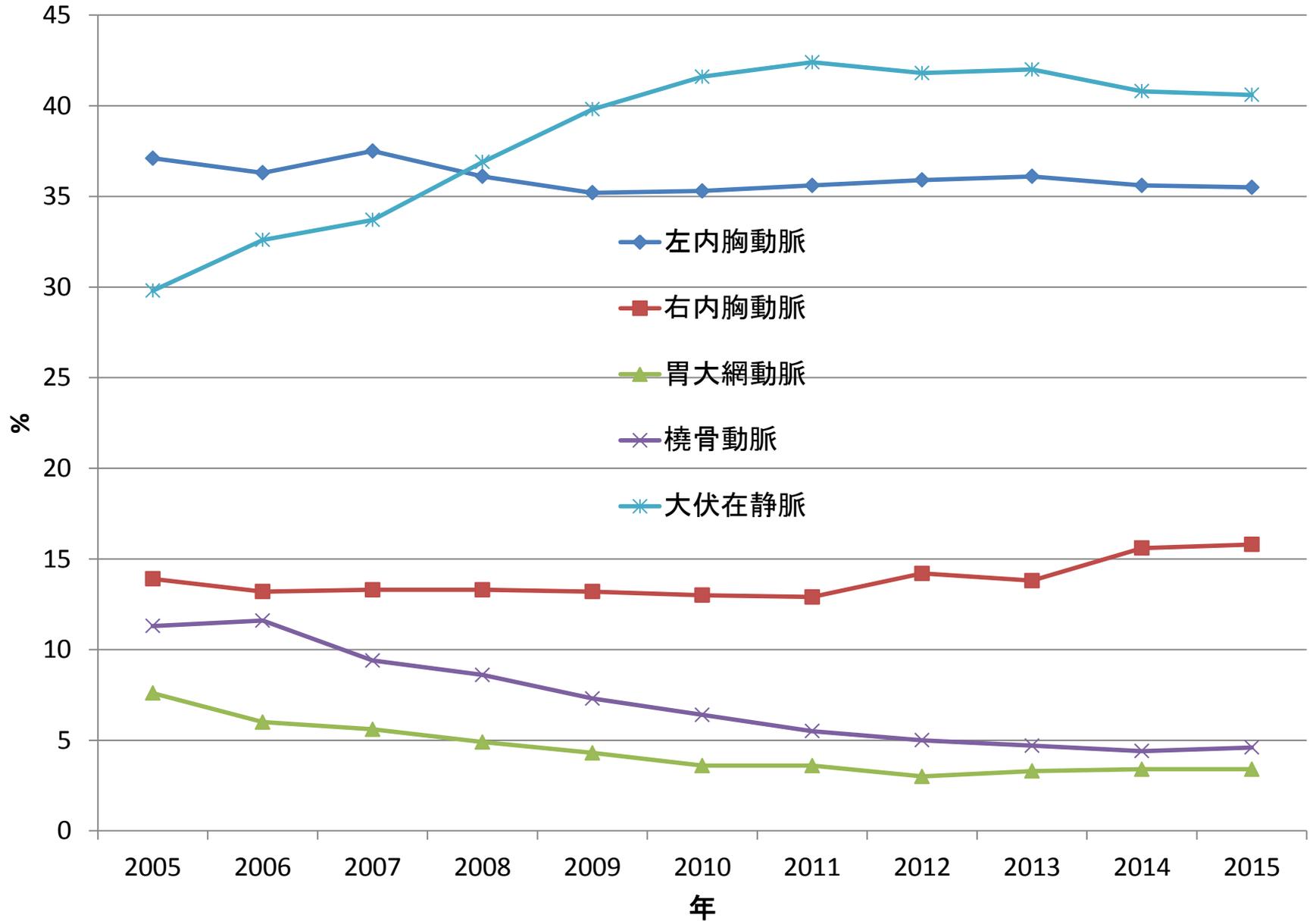


# グラフトの選択

(単独バイパス手術における延べ本数: 25,742本)



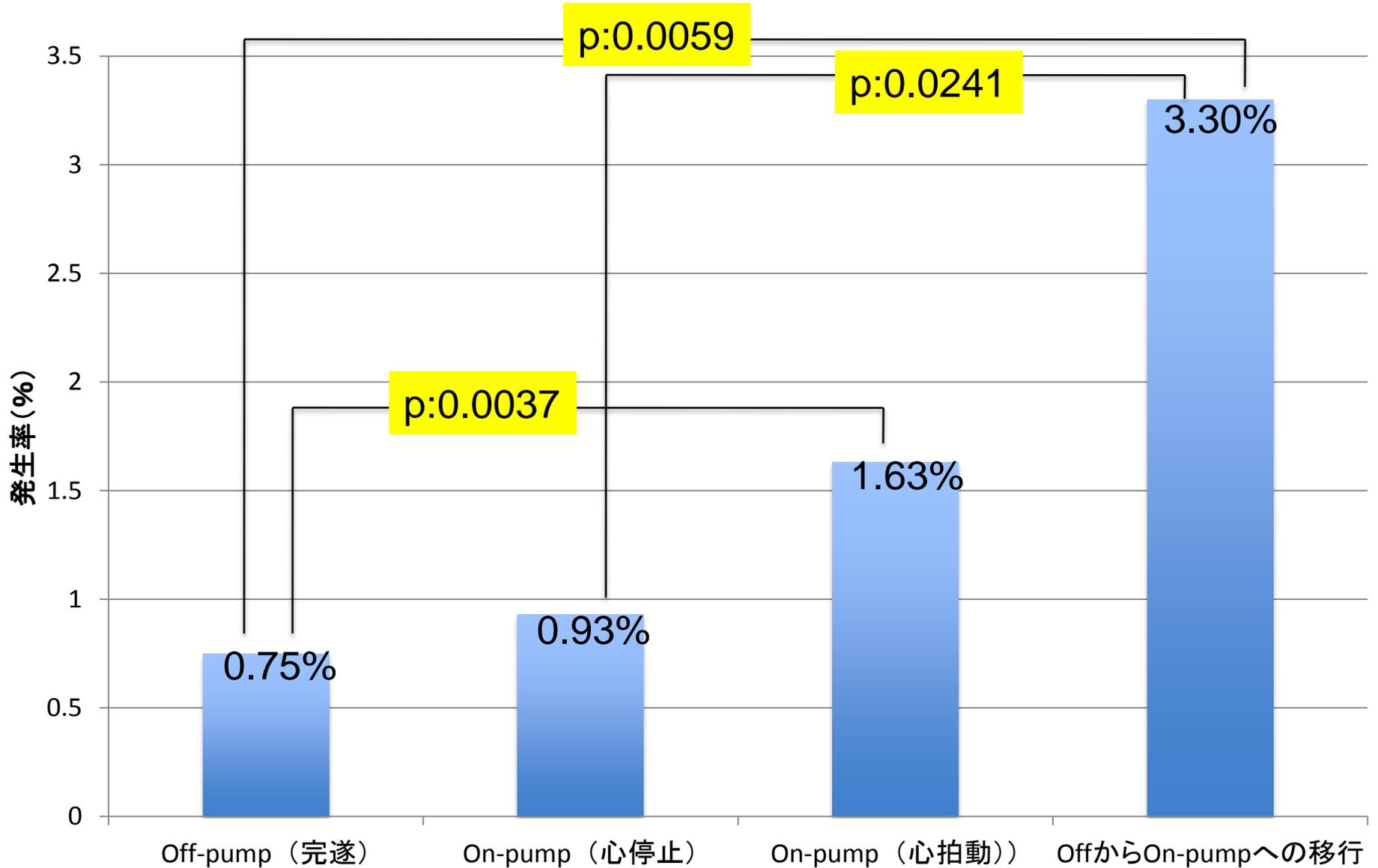
# グラフト選択の年次推移



# 手術手技別のstrokeの発生率(全単独冠動脈バイパス術)

全体の発生数:91例

全体の発生率:91/9707(単独冠動脈バイパス術数)=0.93%



# PCI後の合併症に対する緊急冠動脈バイパス手術の成績

定義; PCI後の合併症(冠動脈閉塞や出血など)に対して  
24時間以内に緊急手術をおこなった症例

例数: 69例

発生率: 69例 / 9707例(単独CABG症例); 0.71%

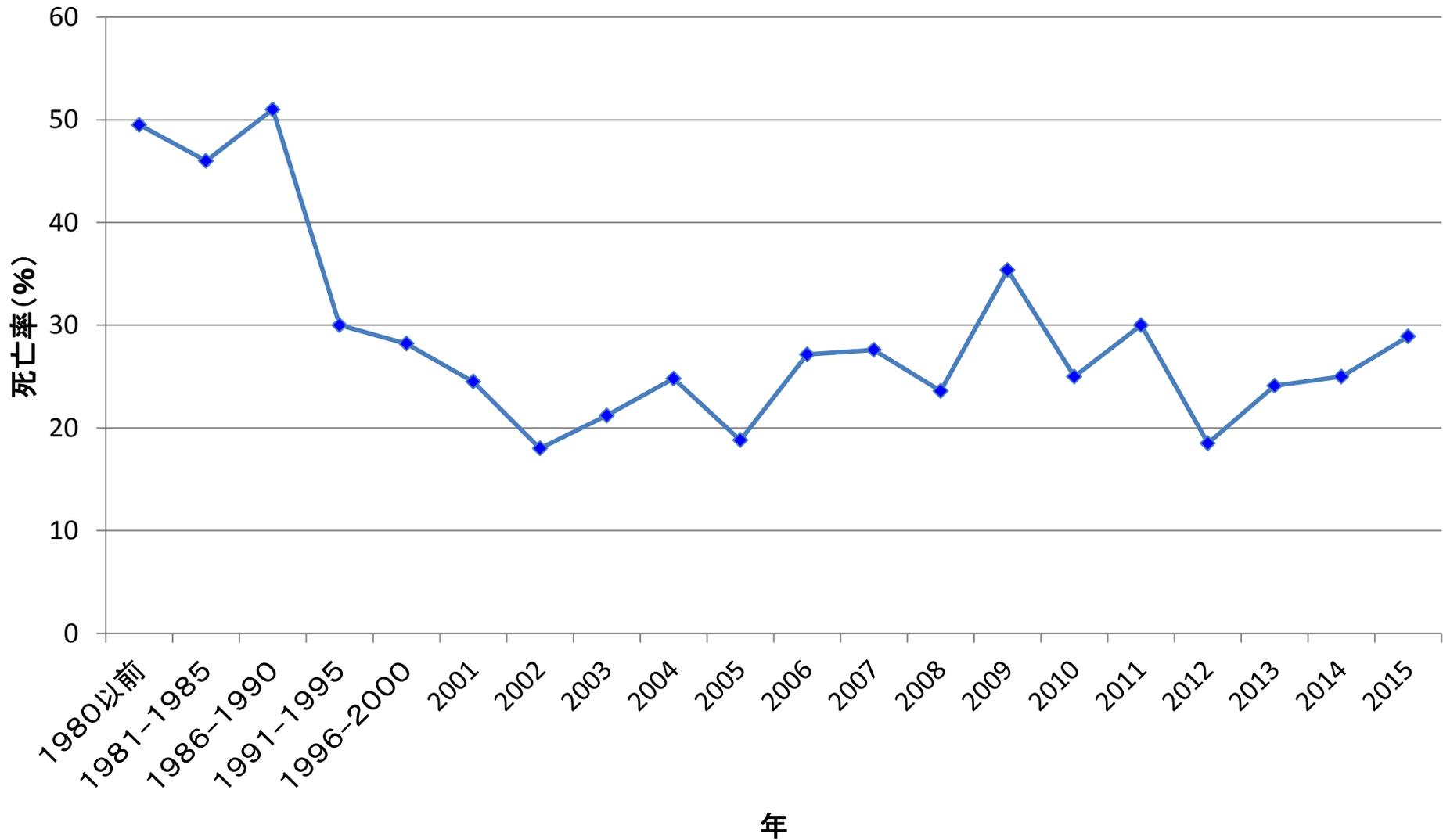
死亡例: 12例

死亡率: 17.4%

## 手術手技別の成績

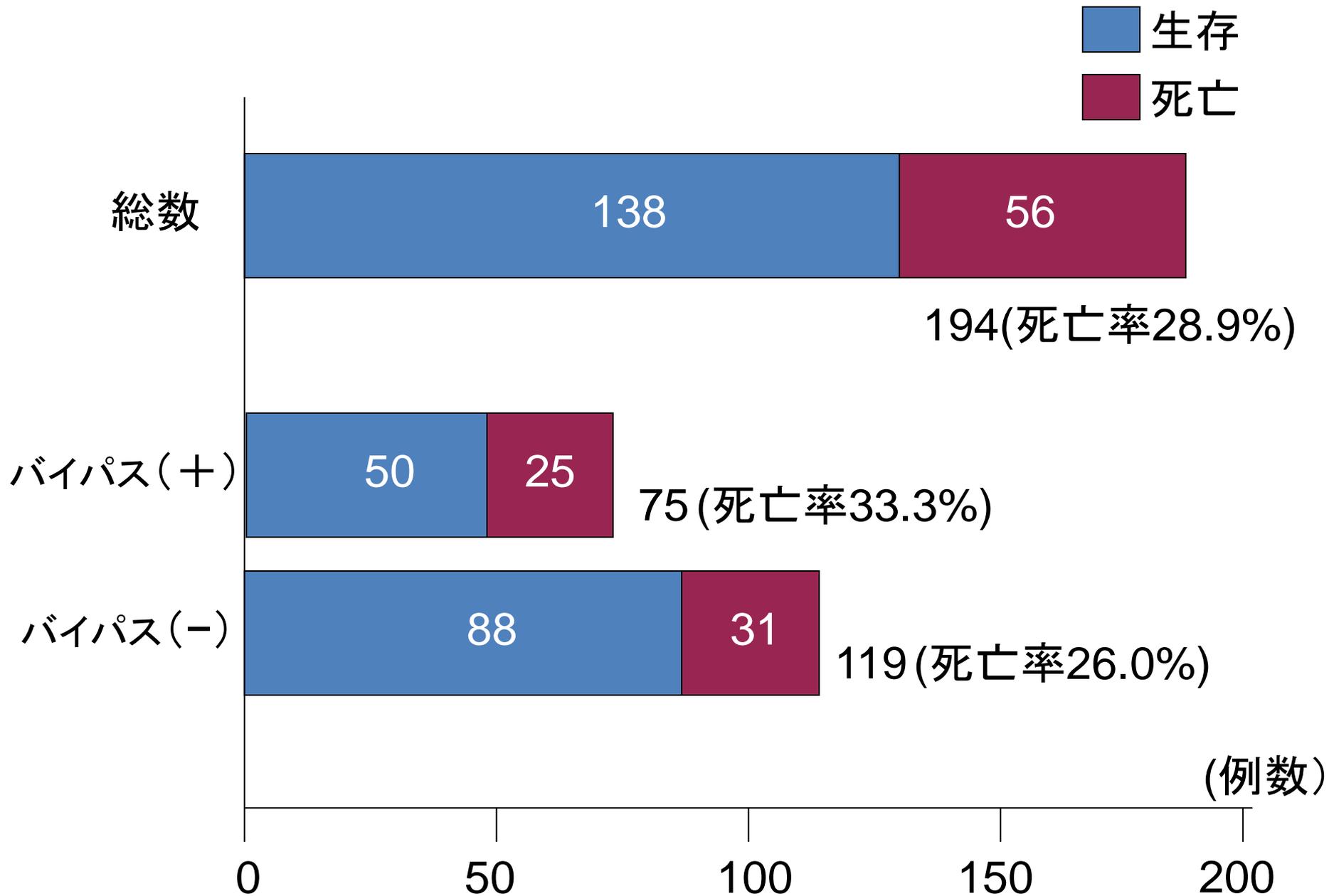
	例数	死亡数	死亡率(%)
1枝バイパス	18	4	22.2
2枝バイパス	21	3	14.2
3枝バイパス	19	2	10.5
4枝バイパス	8	3	37.5
その他の手術	3	0	0

# 心室中隔穿孔の手術成績の年次推移



2015年;  
総数:194、死亡:56(死亡率:28.9%)

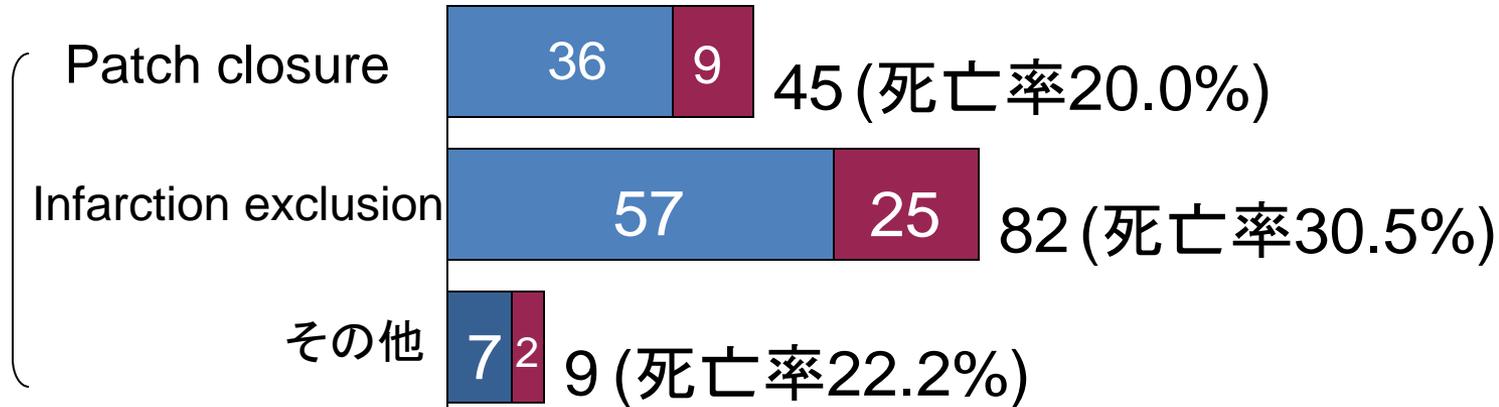
# 心室中隔穿孔の手術成績(1)



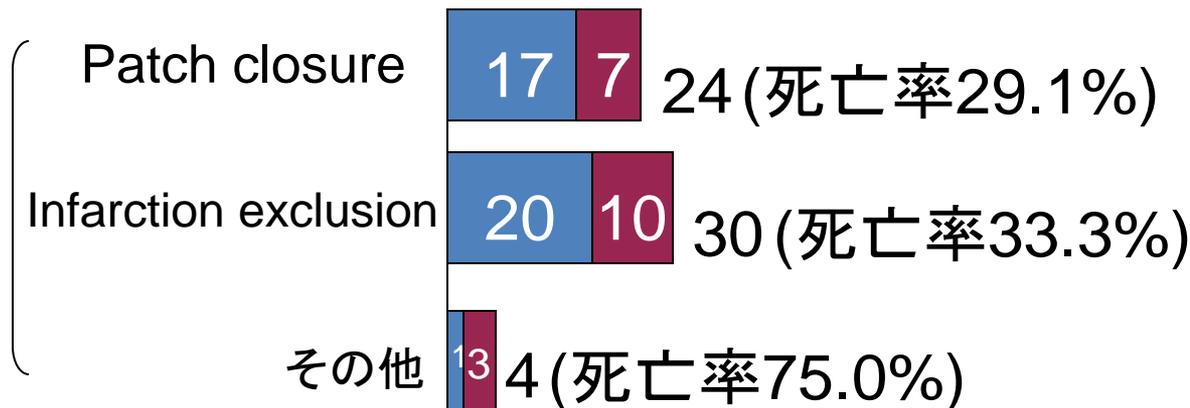
# 心室中隔穿孔の手術成績(2)

生存  
死亡

## 前壁梗塞(死亡率26.4%)

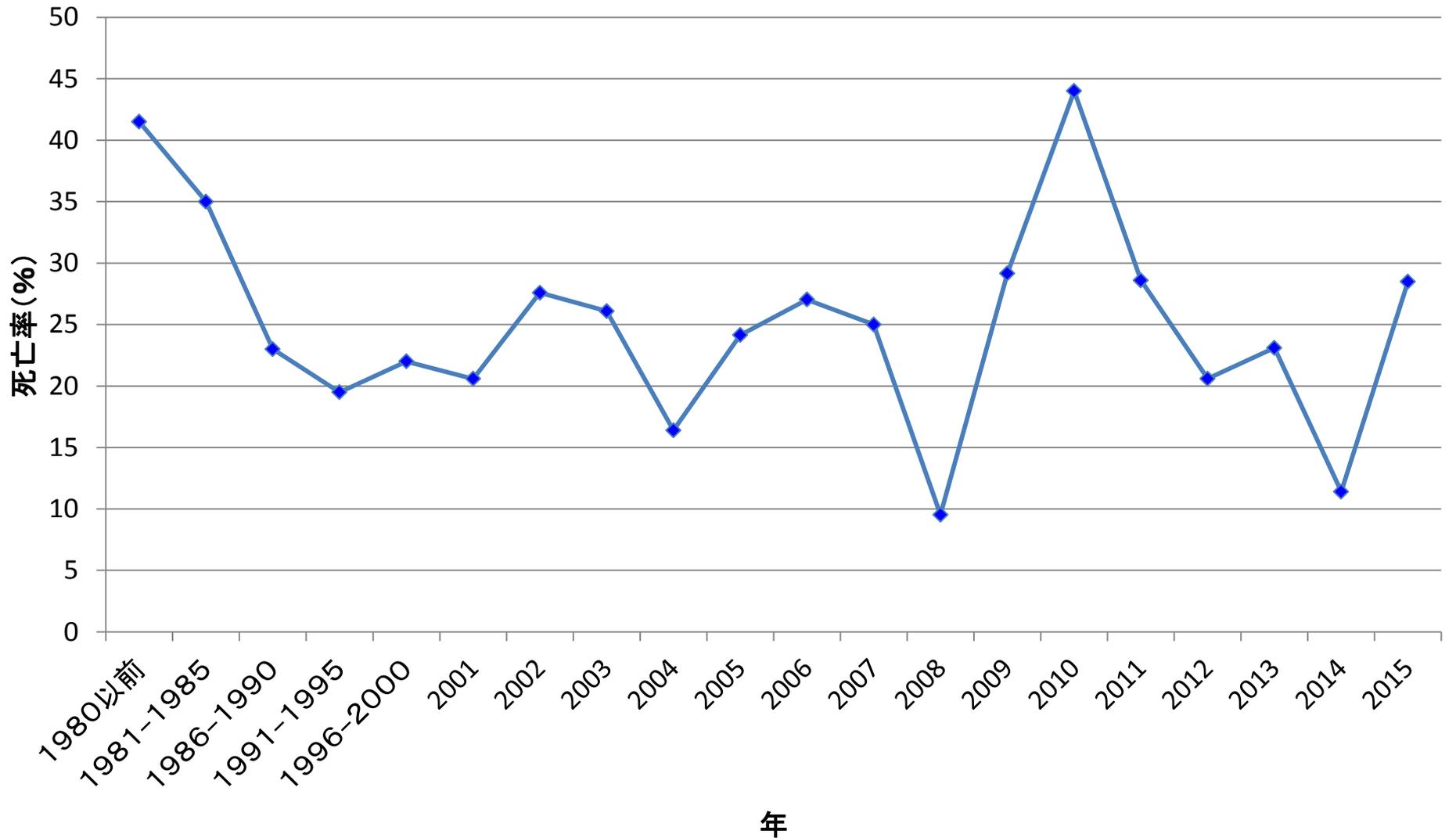


## 後下壁梗塞(死亡率34.4%)



0 50 100 150 (例数)

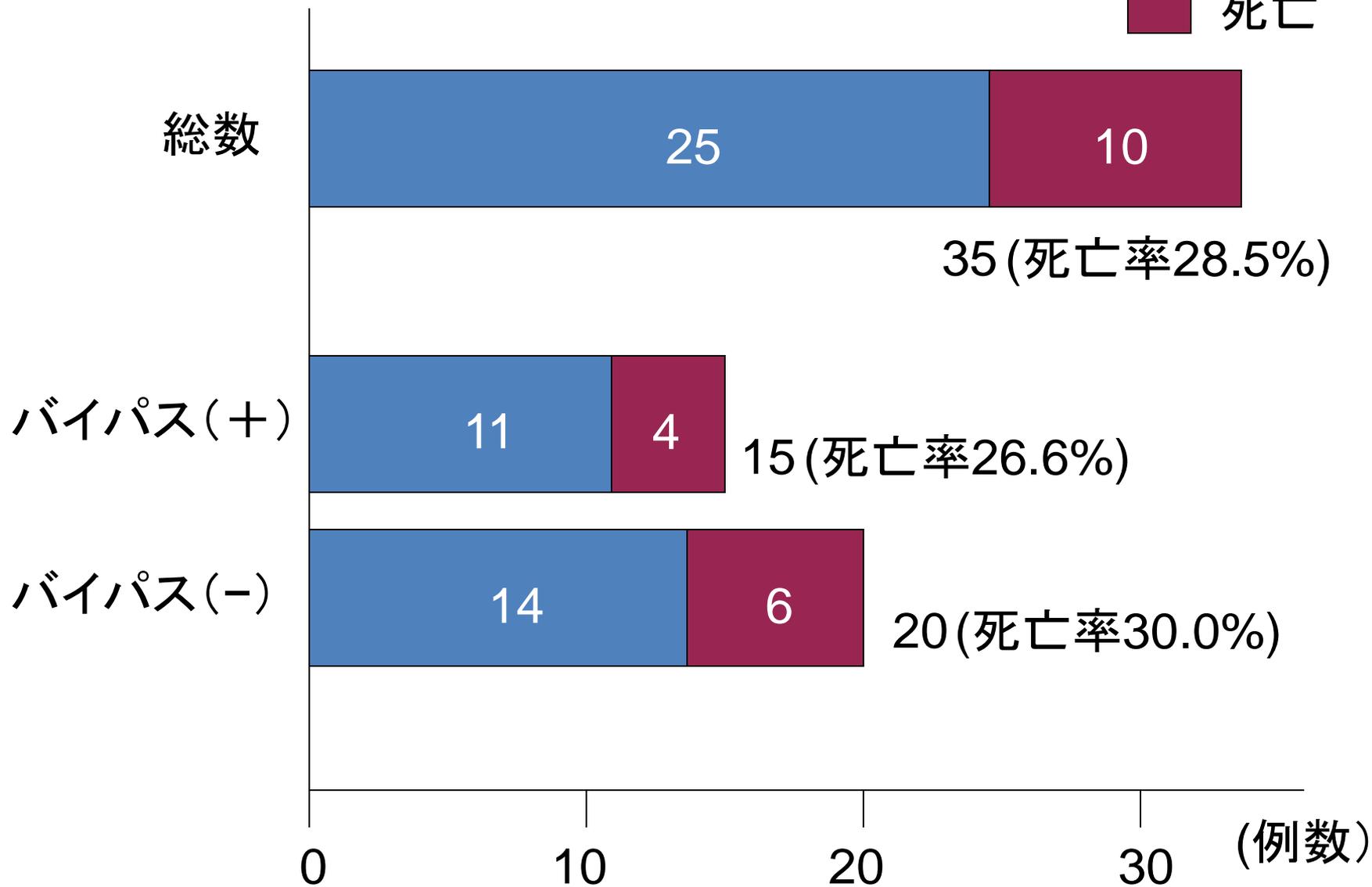
# 左室乳頭筋断裂の手術成績の年次推移



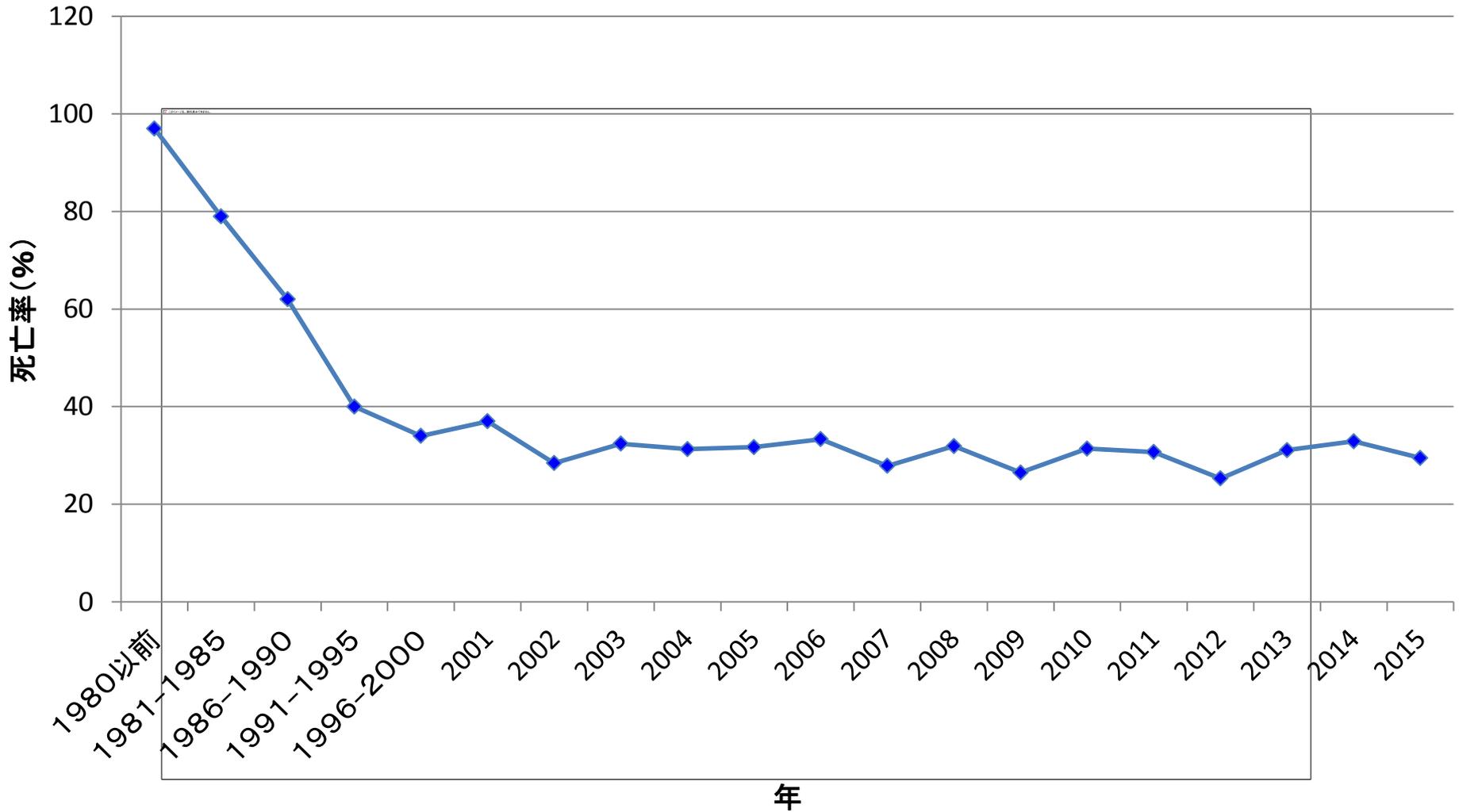
2015年;  
総数:35、死亡:10(死亡率:28.5%)

# 左室乳頭筋断裂の手術成績

生存  
死亡



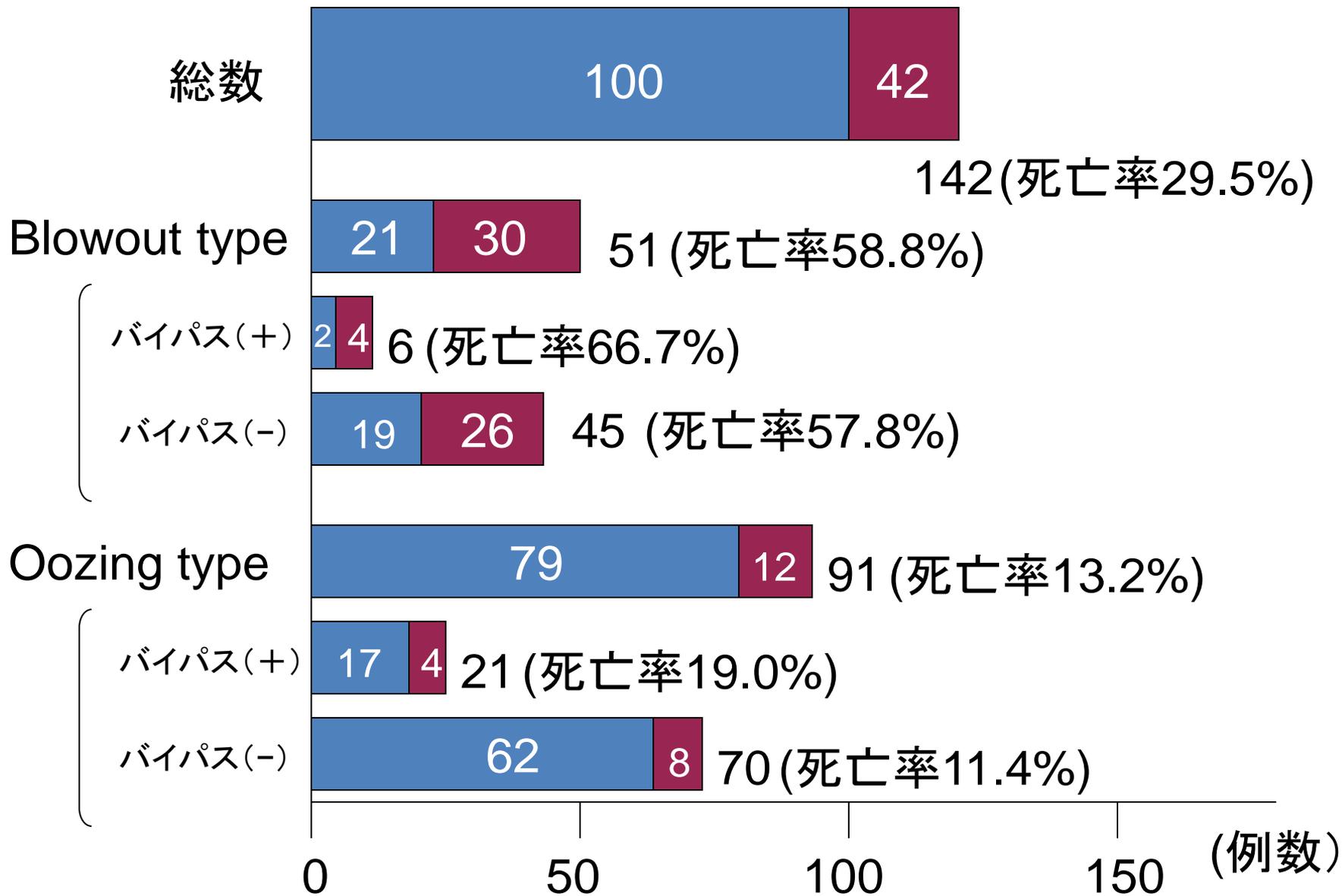
# 心破裂の手術成績の年次推移



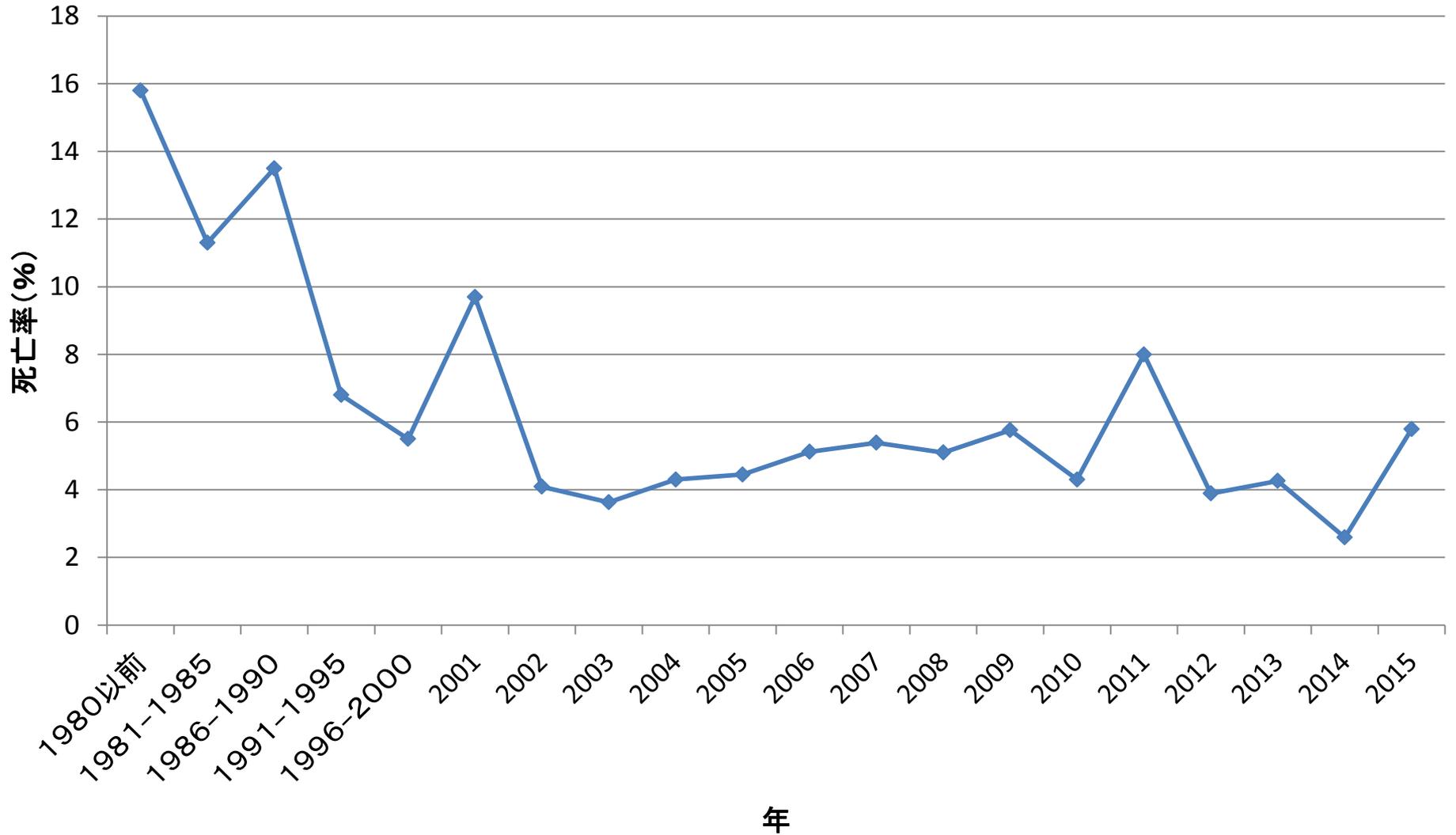
2015年;  
総数: 142、死亡: 42(死亡率: 29.5%)

# 心破裂の手術成績

生存  
死亡

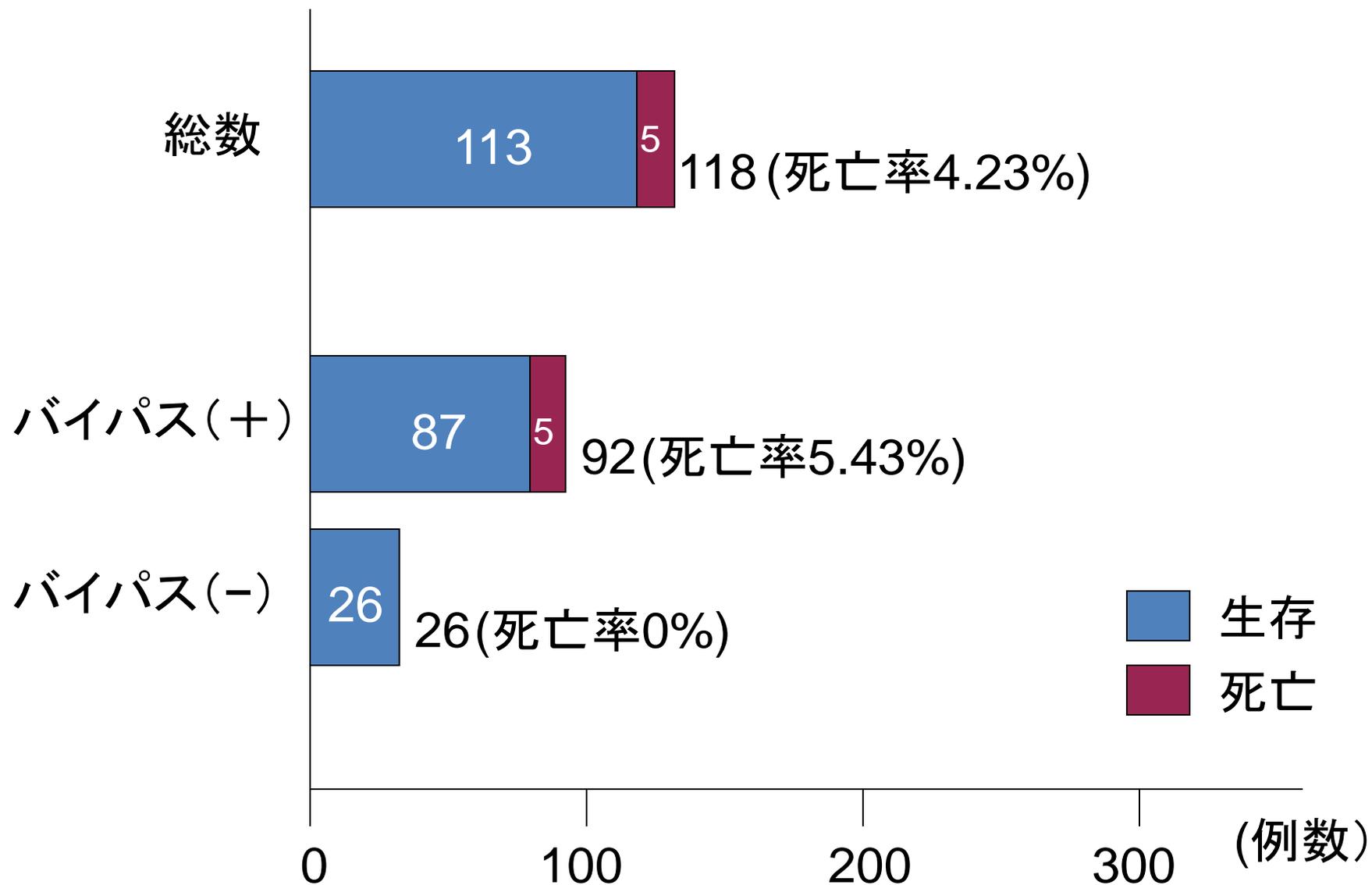


# 左室瘤全体の手術成績の年次推移

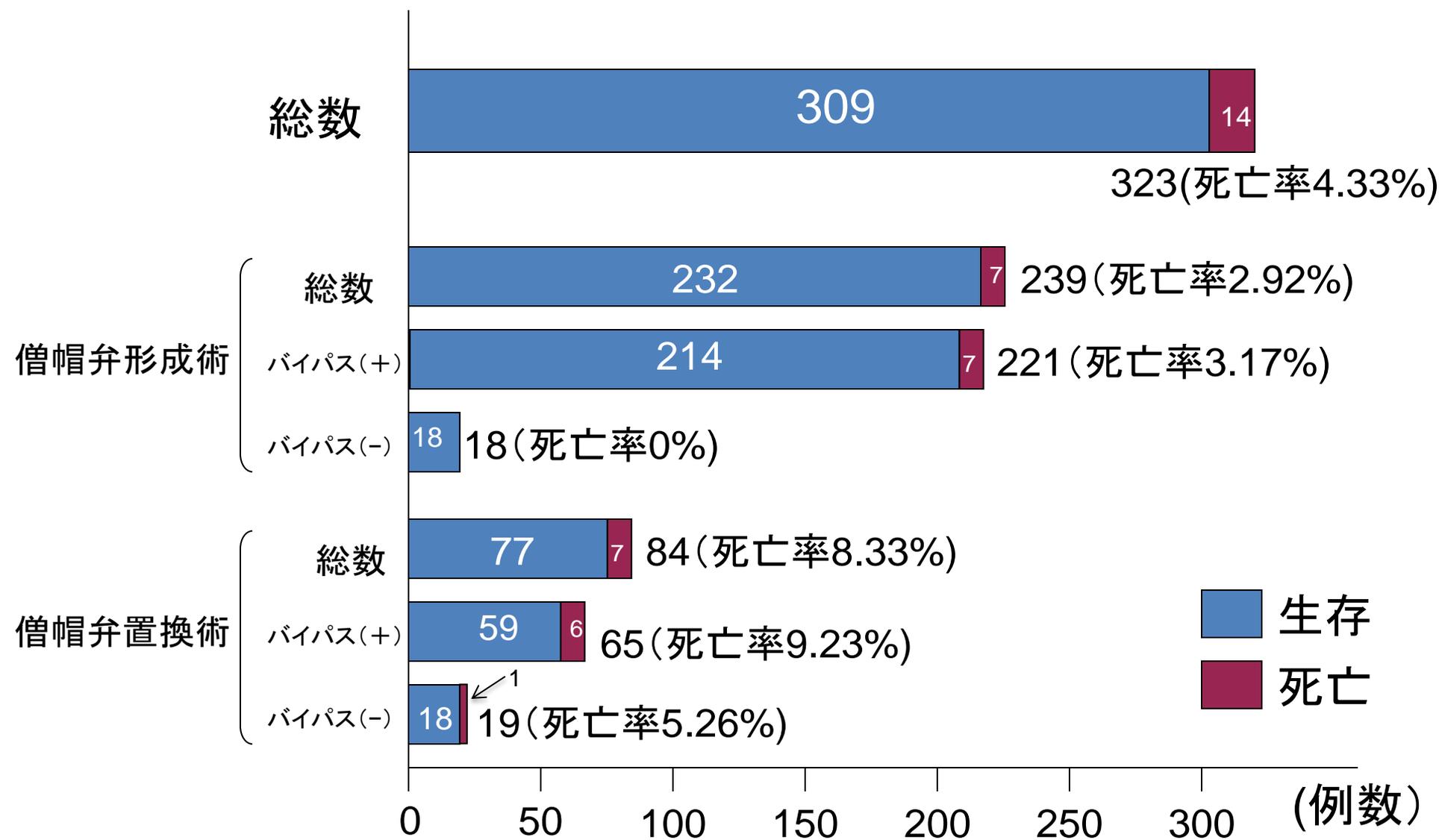


2015年;  
総数:207、死亡12(死亡率:5.79%)

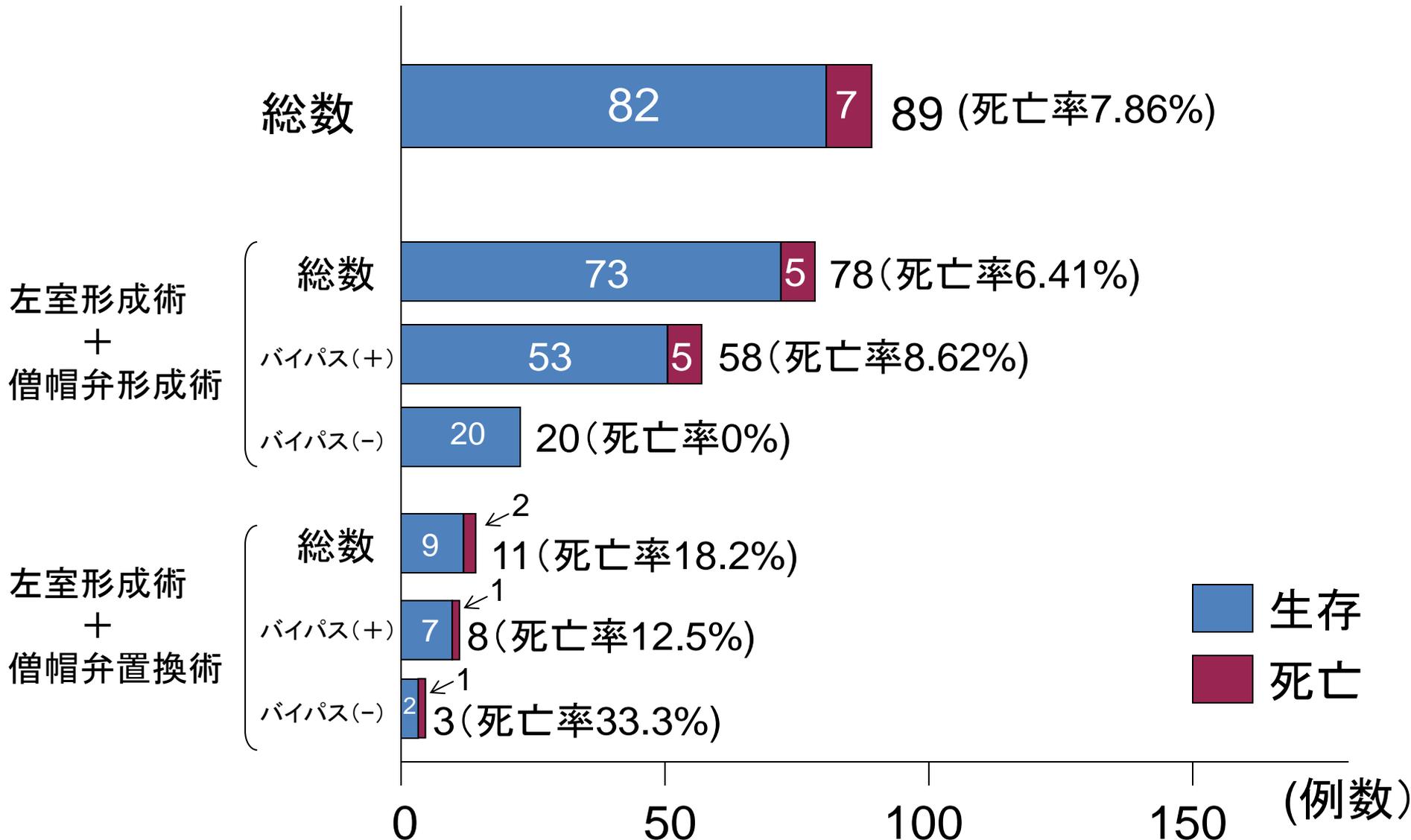
# 左室瘤・虚血性心筋症に対する左室形成術(左室瘤切除を含む)の手術成績



# 虚血性僧帽弁閉鎖不全に対する僧帽弁形成・置換術の手術成績



# 左室瘤・虚血性心筋症＋虚血性僧帽弁閉鎖不全の手術成績



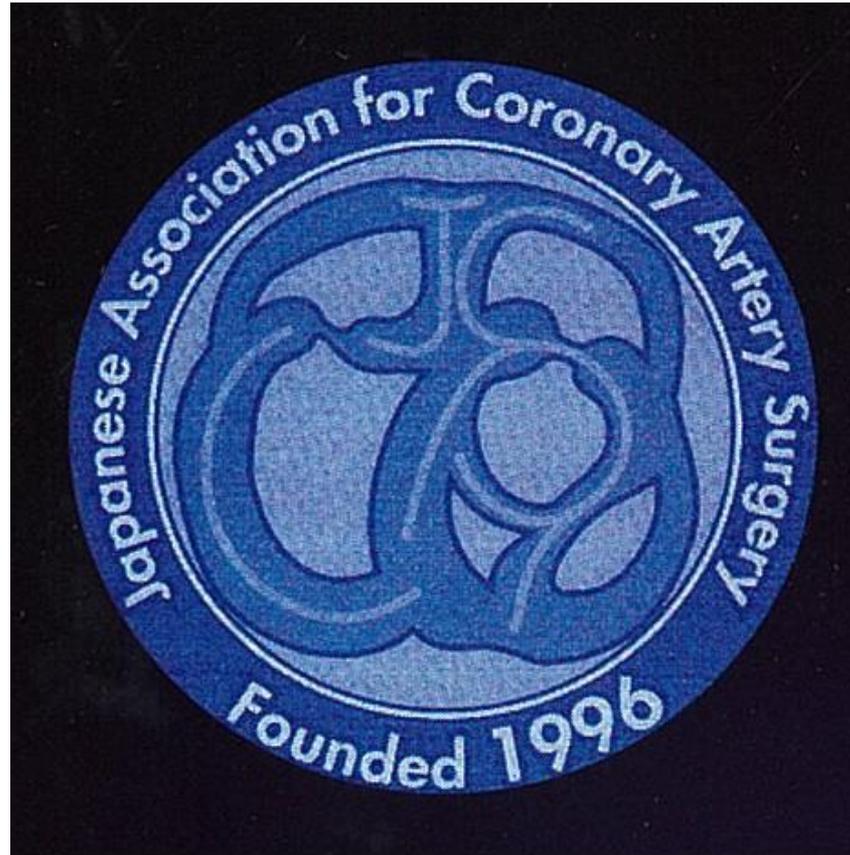
# 結語(1)

1. 単独冠動脈バイパス手術の死亡率は1.72と前年と同様であったが、初回待機手術の死亡率は0.83%と前年より低下し、良好な手術成績であった。
2. 初回待機手術の内63%がoff-pumpで行われ、依然として高い施行率であった。また、その死亡率は0.54%と前年より低下し、極めて良好な成績であった。
3. Off-pumpからon-pumpへの移行率は1.8%と、前年より低下したが、その死亡率は4.40%と上昇し、成績は悪化した。
4. 多枝バイパスほどoff-pumpの施行率が低下するが、4枝以上でも58.5%の症例がoff-pumpで行われた。
5. 症例は年々高齢化しており、70歳以上は51.8%であり、80歳以上は12.3%で、過去最高率であった。

## 結語(2)

6. 動脈グラフトは全グラフトの59.3%に使用され、静脈グラフトの使用率は40.6%であった。
7. 単独冠動脈バイパス術後の脳血管イベントの発生率は0.93%であり、手術手技間の発生率ではon-pump(心拍動)とoffからon-pump移行は脳血管の有害事象を起こす危険因子であり、off-pump(完遂)はそれらを有意に回避することが示された。
8. PCI後の合併症に対する緊急手術は単独冠動脈バイパス術の0.71%に行われ、その死亡率は17.4%と依然として予後不良であった。
9. 心筋梗塞後合併症では、後下壁梗塞の心室中隔穿孔、左室乳頭筋断裂、blowout typeの心破裂の成績は依然として不良であった。

# 冠動脈ハートチーム に関する調査結果(2016年)



日本冠動脈外科学会全国学術調査委員会

質問1 ; 年間診断CAG数

平均 : 856例、最大 : 6,500例、最小 : 0例

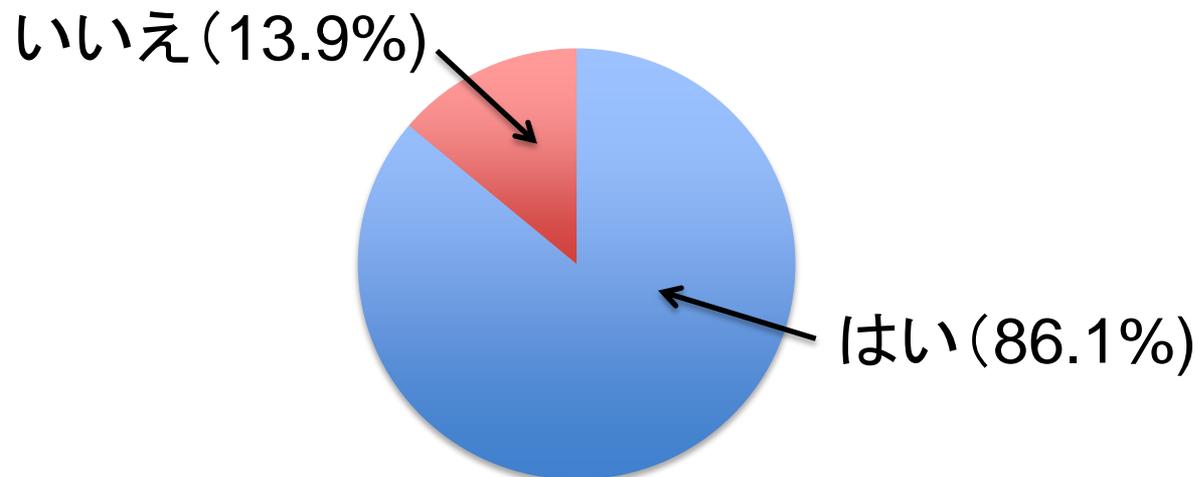
質問2 ; 年間PCI数

平均 : 350例、最大 : 2,539例、最小 : 18例

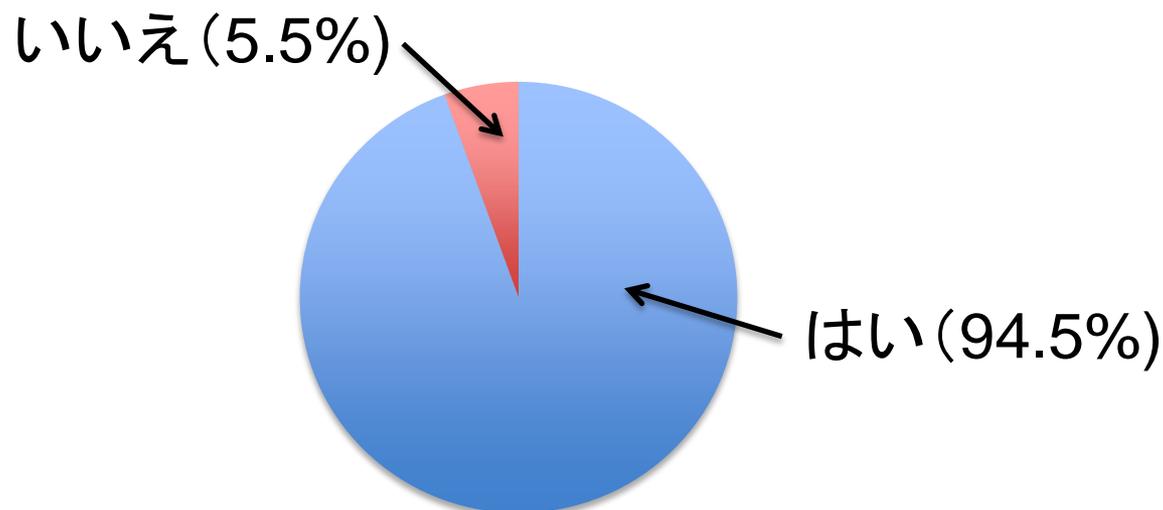
質問3 ; 年間院内紹介CABG件数

平均 : 19例、最大 : 85例、最小 : 0例

## 質問4; ハートチームカンファランスがある



## 質問5; カンファランスを定期的に行っている



質問5;カンファランスの頻度(週に何回か)

平均:1.15回/週

最大:6回/週

最小:0.25回/週(1回/月)

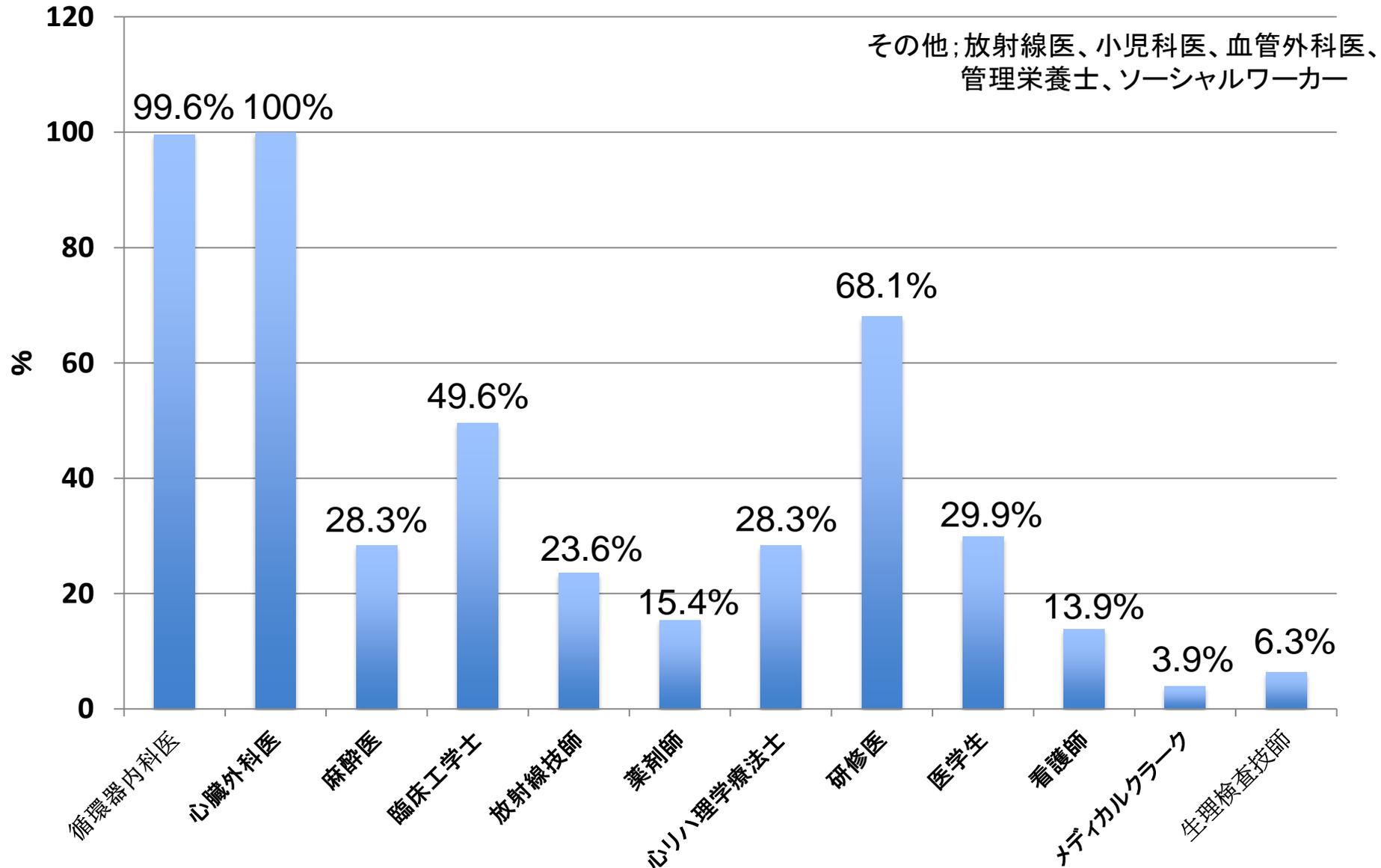
質問6;カンファランスの参加人数

平均:17人

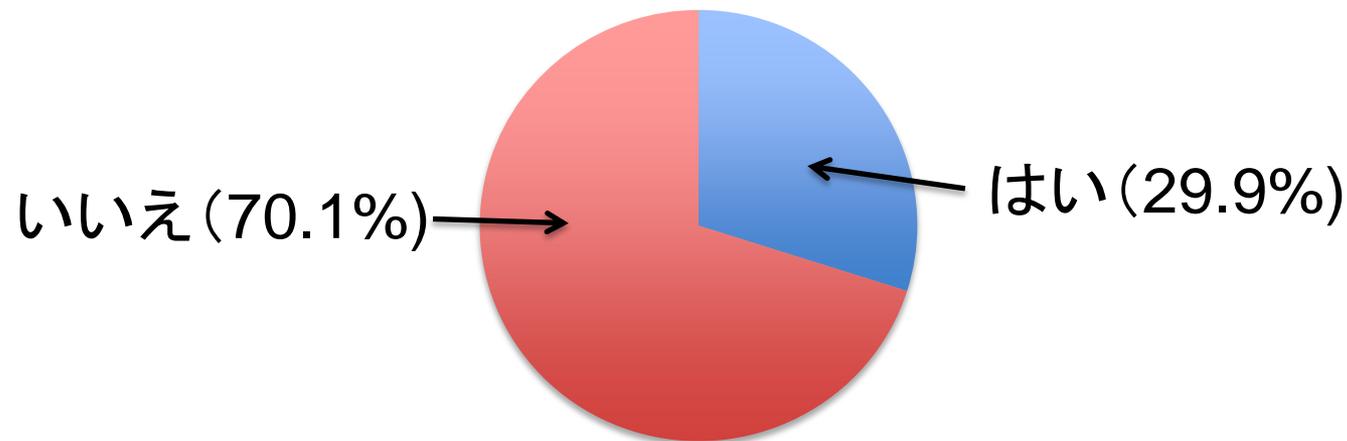
最大:50人

最小:4人

# 質問8;ハートチームカンファランスの構成職種



## 質問9;カンファランスにかける基準がある



## 質問10; 院外から直接外科に紹介された症例をハートチームカンファランスにかけている

